

一般社団法人 **栃木県診療放射線技師会会誌**

JOURNAL OF TOCHIGI ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS

70th
Anniversary



フルサイズのワイヤレスながら、
扱いやすい約2.8kgを実現。



CXDI-410C Wireless

高感度 低線量 画素サイズ:125 μ m



医療機器認証番号:229ABBZX00049000

半切力セットサイズとして、
軽量約2.3kgを実現。



CXDI-710C Wireless

高感度 低線量 画素サイズ:125 μ m



医療機器認証番号:229ABBZX00020000

さらに使いやすくなった、
大四切サイズの小型・軽量モデル。



CXDI-810C Wireless

高感度 低線量 画素サイズ:125 μ m



医療機器認証番号:229ABBZX00029000

より軽やかに、使いやすく

CXDI

Digital Radiography System

防水

軽量

一般的名称:X線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ 製造販売元:キヤノン株式会社 クラス分類:管理医療機器/設置管理医療機器



©キヤノン 医療機器 ホームページ

www.canon-lcs.co.jp

製品に関するお問い合わせは、
キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-13-29 TEL (03)6719-7040

販売店

株式会社 邦商

栃木県宇都宮市大通り1丁目4番22号 MSC第2ビル5F
TEL 028-611-3580



PHILIPS

Innovation that starts with you

フィリップスは2030年までに
年間30億人の生活の向上に
貢献することをビジョンとしています。
すべての人たちが健やかで幸せに、
人生を楽しんでもらいたい。
そのためにイノベーションと
テクノロジーを加速し、
新しい価値を創り出していきます。

もっと健やかな未来へ。フィリップス

innovation  you

株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp

© 2019 Philips Japan, Ltd.

Contents

■巻頭言

「新年を迎えて」	会長 小黑 清	1
----------	---------	---

■創立70周年記念特集

式辞	栃木県診療放射線技師会 会長 小黑 清	2
祝辞	栃木県知事 福田 富一	3
祝辞	日本診療放射線技師会 会長 中澤 靖夫	4
祝辞	国際医療福祉大学 放射線・情報科学科 学科長 内蔵 啓幸	5
創立70周年記念に寄せて	群馬県診療放射線技師会 会長 後閑 隆之	6
創立70周年を祝して	栃木県診療放射線技師会 名誉会員（元会長）赤羽 泉	7
栃木県診療放射線技師会70年のあゆみ		8
創立70周年記念式典・祝賀会開催報告		9
創立70周年記念式典・祝賀会に参加して	栃木県立がんセンター 若林 克幸	11

■報 告

令和元年度 第2回卒後教育講座開催報告	12
令和元年度 第1回第1地区卒後教育講座開催報告	14
令和元年度 第1回第2地区卒後教育講座開催報告	15
令和元年度 第1回第3地区卒後教育講座開催報告	16
令和元年度 第1回第4地区卒後教育講座開催報告	17
令和元年度 第1回第5地区卒後教育講座開催報告	18
診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」開催報告	19
第12回業務拡大に伴う統一講習会開催報告	20

■学 術

栃木県におけるIVR装置線量測定の結果	
栃木県診療放射線技師会	22

■会員報告

第35回 日本診療放射線技師学術大会（さいたま）参加体験記	
那須赤十字病院 大木 敦史	27

■お知らせ

情報誌「あすたーと」の電子配信化について	28
----------------------	----

■事務局報告

「第95回定時社員総会議事録」	29
「平成30年度第1回理事会議事録（抄）」	32
「平成30年度第2回理事会議事録（抄）」	35
「平成30年度第3回理事会議事録（抄）」	38
「平成30年度第4回理事会議事録（抄）」	42
「平成30年度第5回理事会議事録（抄）」	45
「会の動静、会員の動静」	48
「表彰」	49
「令和元年度活動予定表」	49

■賛助・広告会員一覧	50
------------	----

■編集後記	50
-------	----



新年を迎えて

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会長 小黒 清

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員のみなさまにおかれましては、初春を夢と希望、さらには、ご家族の幸せを願ってお迎えのことと存じます。

旧年中は、本会の活動に対し、格別のご支援とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

本年も役員一同、会員のみなさまに満足いただける技師会活動を心掛ける所存です。何とぞ昨年同様にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

まず、昨年11月23日に一般社団法人栃木県診療放射線技師会創立70周年記念式典・祝賀会が滞りなく無事に終了できましたことをご報告申し上げます。ご出席いただきましたご来賓、会員、賛助会員のみなさまに改めてお礼申し上げます。ご来賓の方々からいただいた温かいお言葉を深く心に刻み、80周年、100周年と本会が継続できるように、地域医療に貢献し県民の医療と保健の維持発展に寄与していく所存でございます。

さて、新年を迎えるにあたり、三つの話をさせていただきます。

はじめに、「業務拡大に伴う統一講習会の受講のお願い」です。

診療放射線技師法の一部改正が2014年6月18日に行われ、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。そのため、新しく業務範囲に含まれる業務を安全かつ正確に実施するため業務拡大に伴う統一講習会の受講が求められ、日本診療放射線技師会では会員の100%の受講を目指して各都道府県で平成27年より開催してきました。本県においては令和元年12月1日の時点で受講者が会員の74.2%の状況であり、栃木県での開催は、今月1月が最後になります。未受講の会員の方は、今後、日本診療放射線技師会が開催する業務拡大に伴う統一講習会を受講していただくことになります。

診療放射線技師法の改正に伴う講習会ですので、診療放射線技師の方は必ず受講してください。

二つ目は、「医療法の一部改正に伴う診療放射線の安全管理体制の整備について」です。

2019年3月11日に医療法施行規則の一部を改正する省令が公布され、診療用放射線の安全管理体制に関する規定について2020年4月1日に施行されることになりました。具体的には、エックス線装置などを備えるすべての病院・診療所は「医療放射線安全管理責任

者」を配置すること、医療放射線の安全利用のための指針を策定すること、放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修を実施すること、対象となる医療機器等の被ばく線量の管理と記録を行うこと、診療用放射線に関する情報等の収集と報告を行うことです。これらは2020年4月1日までに準備しなければなりません。

日本診療放射線技師会のホームページには、「診療用放射線の安全利用のための指針モデル」として各病院で策定しなければならない「指針」の「ひな形」が掲載されていますのでぜひ閲覧をしていただき、参考にさせていただきたいと思います。

また、日本診療放射線技師会では医療放射線管理責任者講習会を開催し、法令で求められる放射線管理の詳細について解説していますのでぜひ参加してください。

最後は、「わかりやすい技師会」を目指すことです。

私は会長就任以来、会員のみなさまに対して「わかりやすい技師会」を目指してまいりました。そして、そのためには会員のみなさまとの情報の共有が重要と考え、ホームページのリニューアルを実施し、現在6,000回の閲覧数を超えている状況です。

今後も、ホームページを活用し、栃木県診療放射線技師会の最新の情報をみなさまに提供していきたいと思っています。そして、会員のみなさまが疑問に思うこと、ご要望、わからないことなどありましたら、遠慮なく栃木県診療放射線技師会事務所にご連絡ください。わかりやすくご説明させていただきます。

今年は、子年（ねずみどし）です。ネズミがチョロチョロ動き回るように、役員一同フットワークよく動き回りしたいと思います。これからも会員のみなさまとともに本会の更なる発展と診療放射線技師の地位向上に貢献するために、会員による会員のための事業を中心に頑張っていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

栃木県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。



式 辞

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 小 黒 清

本日ここに、ご来賓並びに多くの関係者各位のご臨席のもと、一般社団法人栃木県診療放射線技師会創立70周年記念式典を挙行できますことは、誠に光栄であり、慶賀に堪えないところでございます。

栃木県知事福田富一さまをはじめ、公益社団法人日本診療放射線技師会会長中澤靖夫さま、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科学科長内蔵啓幸さま、北関東地域各県診療放射線技師会会長さま、ご来賓各位にはご多用にもかかわらず、私どものためにご出席賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。また、会員、賛助会員、広告契約各社のみなさまには、日頃から、一般社団法人栃木県診療放射線技師会に対する温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昭和24年5月にわずか21名の有志によって設立された栃木県放射線技師会ですが、70年にわたり、情熱をもって活動を継続し、放射線の安全利用と県民のための医療の高度化を目指して学術の向上に努力してきたことから、現在510余名の会員を有するまでに発展しました。職能団体としての組織づくりから始まり、組織の法人化、専用の事務所の取得など、これらは技師会への熱き思いと地位向上にご尽力されました歴代会長、執行部役員並びに会員諸氏の功績により築かれたことであり、この功績がなければ今日を迎えることはできなかったと思います。

諸先輩方に心より敬意を表し感謝申し上げます。

さて、医療職種である我々、診療放射線技師は、患者中心の医療を実践し、社会に対し貢献していく責務があります。そのためにも、日々の研鑽は重要と考えており、栃木県診療放射線技師会では、毎年10回以上の卒後教育講座を開催しております。さらに人材育成の重要性をテーマに、県内各施設の管理職を集めた技師長サミットを開催しております。また、1995年、平成7年に大田原市に国際医療福祉大学が開学したことにより、多くの会員が臨床実習を通して診療放射線技師教育に携わることになりました。

栃木県診療放射線技師会は、これからも大学と連携しながら技師教育及び卒後教育の充実を図ってまいります。

令和となった今年、創立70周年の節目に、診療放射線技師の役割を実践し、80年、100年と栃木県診療放射線技師会が継続できるように、新たな気持ちで、地域医療に貢献し県民の医療と保健の維持発展に寄与していく所存でございます。

これからも役員一同、誠心誠意、事業に取り組んで参りますので皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、式辞とさせていただきます。



祝 辞

栃木県知事 福 田 富 一

一般社団法人栃木県診療放射線技師会の創立70周年記念式典の開催に当たり、一言、お祝いを申し上げます。

一般社団法人栃木県診療放射線技師会におかれましては、昭和24（1949）年の発足以来、各種研修会や学術研究発表会の開催による会員の専門知識や技術の向上、さらには、放射線医療に関する情報を広く公開することにより、県民の放射線への関心を向上させるなど、県民の健康の保持増進に多大なる貢献をいただいております。また、会員の皆様には、地域で必要とされる保健・福祉の充実に御尽力いただいております。改めて、心からお礼を申し上げます。

この度、貴会が創立70周年という節目の記念すべき年を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであり、歴代会長をはじめ役員、会員の皆様方の御努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

さて、県では、現在、栃木県保健医療計画（7期計画）及び栃木県高齢者支援計画「はつらつプラン21」（七期計画）に基づき、質の高い医療を効率的に提供する体制を確保するとともに、保健・介護・福祉のサービスと一体的に提供することにより、県民の皆様が住み慣れた地域において、健康で、安心して暮らすことができる環境づくりに取り組んでおります。

こうした取組を着実に推進し、実りあるものにしていくためには、住民の身近にあって、地域医療・地域福祉の充実のために活躍されている診療放射線技師の皆様方のお力添えが必要不可欠であると考えております。

小黑会長をはじめ、会員の皆様におかれましては、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人栃木県診療放射線技師会のますますの御発展と、会員の皆様方のさらなる御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

公益社団法人 日本診療放射線技師会
会 長 中 澤 靖 夫

一般社団法人栃木県診療放射線技師会が「創立70周年」を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会の歴史をひも解くと、昭和24年5月29日石井信利初代会長（宇都宮保健所）の陣頭指揮のもと会員数21名で設立されております。

一口に70年と申しますが、その道のりは平坦ではなく、むしろ艱難辛苦の伴う山あり谷ありのご苦勞の多い歴史ではなかったかと推察いたしております。

この間、小黒会長はじめ歴代の会長、役員の皆様方、会員の皆様方の並々ならぬご努力により、会員の生涯教育にご尽力されてこられました。現在では516名の会員を擁し、栃木県民の健康と福祉の増進、医療の質の向上にご尽力されている事に対し、心から敬意を表する次第です。

いま厚生労働省は少子高齢化・多死社会の進展、疾病構造の変化、ゲノム情報に基づく予防医療の推進、医療技術の高度化、医師の働き方改革、国民ニーズの多様化に対応すべく、事業を進めております。働き方改革関連法案の成立に伴い、①長時間労働の是正②勤務間インターバル制度の普及促進③高度プロフェッショナル制度の創設④同一労働同一賃金による公正な待遇の確保等、さらに医師と他の医療職種間で行うタスク・シフティング（業務の移管）、タスク・シェアリング（業務の共同化）等の役割分担とチーム医療の推進を積極的に取り組んでいます。

公益社団法人日本診療放射線技師会も厚生労働省と連携しながら特に医療安全・チーム医療の推進に取り組んでいます。平成29年4月には厚生労働省の中に「医療放射線の適正管理に関する検討会」が立ち上がり、医療放射線の適正管理のための法整備、中でも医療法の改正による医療放射線安全管理責任者の設置や医療放射線被ばく管理業務の義務化が決定し、令和2年4月1日から施行されます。さらに厚生労働省行政推進調査事業として医療機器の安全管理が検討され、本会から提案されたCT/MRIが保守点検計画を策定すべき医療機器として発令されました（医政地発0612第1号・医政経発0612第1号）。さらに18年ぶりに厚生労働省の中に「診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」が立ち上がり、診療放射線技師養成教育の見直しが行われ、現行の95単位から102単位となり、新たに臨床画像学や実践臨床画像学が追加され、参加型臨床実習が望ましいとされました（令和4年4月1日施行予定）。本会はこれからも47都道府県と連携しながら「診療放射線技師の資格の命を守り発展させる」活動を行って参る所存です。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員各位のご健勝を心から祈念し、祝辞といたします。



祝 辞

国際医療福祉大学
保健医療学部 放射線・情報科学科
学科長 内 藏 啓 幸

一般社団法人栃木県診療放射線技師会が創立七十周年という記念すべき年をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴会は七十年の長きにわり診療放射線技術の普及発展、医療・保健・福祉の増進へ大きく貢献されてきました。設立当初の主な業務がX線を利用した一般撮影だけであったものが、その後の画像診断機器技術の進展とともに、今日ではX線撮影装置のみならず、CT装置、MRI装置、無散瞳眼底カメラ、核医学検査装置、超音波検査装置などを用いた画像診断全般、ならびに放射線を利用した治療の分野まで業務範囲を拡大・発展させてされました。新しい検査手法や機器の活用・普及を通じて、日本の医療をより良いものにされてこられた諸先輩並びに、ここに御出席の皆様のご尽力に対し深く敬意を表します。

七十年には遠く及ばないものの、私ども国際医療福祉大学もお陰をもちまして来年で創立二十五周年を迎えます。「病める人も、障害を持つ人も、健常な人も互いを認め合って暮らせる「ともに生きる社会」の実現」という建学の精神のもと、豊かな人間性を備え、自ら思考し判断できる能力を備え、放射線に関する専門性に加え、医療情報に関する知識、技術を兼ね備えた人材を育成することを教育のポリシーとして、この二十五年間で、二千三百名を超える診療放射線技師を輩出してまいりました。本学を卒業され、貴会に所属し活躍されている方も多く、本県唯一の診療放射線技師養成校として、県民の医療・福祉の向上にも大きく貢献しているものと自負しております。生活様式の変化や超高齢化による疾病構造の変化、また、患者ニーズの多様化など、我が国における、医療を取り巻く環境は変容しており、診療放射線技師に求められる素養も大きく変わっております。これに応じて、診療放射線技師を志す学生が身につけておくべき知識や教養も変化しており、現場に即した、高いレベルの教育を担ってゆくためにも、職能団体である貴会との連携協力は欠かせません。この七十周年の節目を機に、これまで以上にご支援賜れますと幸甚に存じます。

栃木県診療放射線技師会のますますのご発展ならびに会員の皆様のより一層のご健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立70周年記念に寄せて

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会
会 長 後 閑 隆 之

この度は一般社団法人栃木県診療放射線技師会創立70周年、誠におめでとうございます。心より敬意を表しますとともに一言お祝の言葉を述べさせていただきます。

栃木県診療放射線技師会におかれましては、昭和24年の発足以来長きにわたり時代に向き合い、歴代会長の皆様のリーダーシップのもと放射線技師の資質向上と、県民の方々の医療と保健の維持発展に寄与する活動を積極的に遂行なされたことに対して、尊敬の念を禁じ得ません。また、現在の小黒清会長は栃木県診療放射線技師会のみならず日本診療放射線技師会の全国地域理事として、我々診療放射線技師の現在または将来のためにご尽力いただいております。今の時代、診療放射線技師を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、来年4月からは医療放射線の安全管理に関わる法改正も施行され、また医療職のタスクシフトも今後加速していくことが予想されますので技師会員一丸となって前に進んでいくことが重要となってきます。そういった中、栃木県診療放射線技師会の皆様の団結力、行動力は全国の模範となり、今後様々のご教授をいただきながら我々も活動してまいりたいと思います。

最後に栃木県診療放射線技師会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し祝辞とさせていただきます。



創立70周年を祝して

名誉会員 赤 羽 泉

一般社団法人栃木県診療放射線技師会の創立70周年心よりお祝い申し上げます。

70周年の記念すべき日を迎えるまでには先達の方々の心血をそそぎ汗と涙の苦難の時代を一步一步築き上げた道のりがあり、ここまで成長してきました。栃木県診療放射線技師会は定款に定めがありますが医療放射線の適正利用を推進し県民の医療と保健の維持発展に寄与することを目的とすると定めております。医療放射線機器の発展は日進月歩で少しでも立ち止まる事が許されない時代となっています。会員諸氏は技師会の力と大切さを信じ、過去を学び現在を理解し未来に希望と夢を持って邁進して下さい。

私は栃木県診療放射線技師会会長を6期12年の長期にわたり技師会のため責務を果たしました。それも役員の方々の協力と理解のもと続ける事が出来ました、又会員諸氏に信頼されるよう努めました。現在の放射線技師の方々は我々の時代と違い高等教育を受けた技師が多数となり全体として著しく資質が向上しています。過去の日本診療放射線技師会の目標は教育制度変革と高度化を実現しなければならないと当時の日本診療放射線技師会会長の強力な指示指導のもと教育なくして職業の発展も社会的な身分や地位の向上は望めず、そのためには大学教育が絶対必要との方針のもと、日本診療放射線技師会が機関決定し技師会自前の大学設置がスタートしました、各地方技師会も一致団結して実現に協力いたしました。栃木県診療放射線技師会も会長を先頭に役員の協力と会員に趣旨を説明し理解を得、寄付をお願いいたしました。念願だった大学が三重県鈴鹿市に平成3年鈴鹿医療科学技術大学として開学しました。技師会員の夢が実現したことを喜び感激いたしました。努力すれば夢は叶うものだと実感したことが昨日のように思い出されます。

その後まもなく地元の栃木県に国際医療福祉大学が開学し技師教育をして戴いている事、心より感謝いたしております。医療人としてこれからは患者様を重視し安全・安心の医療を行って下さい。

最後に栃木県診療放射線技師会のますますの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しお祝いの言葉とさせて戴きます。

栃木県診療放射線技師会70年のあゆみ

昭和22年 (1947年)	日本放射線技師会創立			
24年 (1949年)	栃木県放射線技師会設立	初代会長	石井信利就任	会員数21名
26年 (1951年)	栃木県エックス線技師会と改称			会員数45名
29年 (1954年)	会報1号発行	第2代会長	大塚 恒就任	会員数49名
33年 (1958年)	栃木県エックス線技師会 会誌創刊			
34年 (1959年)	栃木県エックス線技師会創立10周年記念誌発行			会員数50名
38年 (1963年)	栃木県公衆衛生協会加入			会員数65名
43年 (1968年)	放射線技師およびエックス線技師法の一部改正			会員数80名
44年 (1969年)	診療放射線技師国家試験受験資格取得指定講習会終了 栃木県放射線技師会と改称 栃木県放射線技師会創立20周年記念式典			会員数89名
48年 (1973年)		第3代会長	田村忠次就任	会員数125名
50年 (1975年)		第4代会長	軽部 智就任	会員数159名
51年 (1976年)	日本放射線技術学会栃木支部を分離			会員数173名
53年 (1978年)		第5代会長	栗岩健一就任	会員数206名
54年 (1979年)	栃木県放射線技師会創立30周年記念式典 記念誌発刊 ニュースとちぎ創刊 第1回「あなたのための放射線展」			会員数222名 会員数232名
56年 (1981年)	栃木県医療技術者団体連絡協議会設立			
59年 (1984年)		第6代会長	瀬山吉久就任	会員数256名
61年 (1986年)		第7代会長	日野輝男就任	会員数260名
平成元年 (1989年)	事務所を宇都宮市医師会館内へ 社団法人栃木県放射線技師会登記完了			会員数294名
2年 (1990年)	社団法人栃木県放射線技師会設立 創立40周年記念式典 記念誌発行 全国統一講習会修了			会員数318名
4年 (1992年)	樹園マンション（宇都宮市）へ事務所移転 鈴鹿医療科学大学・教育センター見学研修会			
5年 (1993年)	「中村實日本放射線技師会長を囲んで」懇話会			会員数357名
6年 (1994年)		第8代会長	赤羽 泉就任	会員数363名
7年 (1995年)	臨床実習指導者養成講習会 X線発見100年記念事業・特別講演会			
9年 (1997年)	元県栄町別館へ事務所移転			会員数380名
10年 (1998年)	関東地域放射線技師学術大会栃木大会（鬼怒川）			
12年 (2000年)	栃木県放射線技師会50周年・法人化10周年記念式典 50年誌発刊			会員数414名 参加者331名
17年 (2005年)	北関東地域放射線技師学術大会栃木大会（那須） 公益法人研修（自治研修所講堂）			
18年 (2006年)	公益法人研修（県総合文化センター）	顧問 第9代会長	赤羽 泉就任 茂木常男就任	会員数465名
21年 (2009年)	栃木県放射線技師会会誌創刊100号記念			
22年 (2010年)	栃木会館へ事務所移転	第10代会長	神山辰彦就任	会員数462名
24年 (2012年)	関東甲信越診療放射線技師学術大会栃木大会（宇都宮） 一般社団法人への移行認可答申			参加者431名 会員数455名
25年 (2013年)	一般社団法人へ移行 一般社団法人栃木県診療放射線技師会に改称登記完了			
27年 (2015年)	栃木県庁舎西別館へ事務所移転 改正診療放射線技師法の施行	第11代会長	小黑 清就任	会員数447名
令和元年 (2019年)	栃木県診療放射線技師会創立70周年記念式典			会員数516名

創立70周年記念式典・祝賀会

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会 理事 成田 充穂

栃木県診療放射線技師会は1949年（昭和24年）5月29日に創立し、70周年を迎えることができました。本会の創立当初は会員数21名でありましたが、現在では516名の会員数となっております。本会が70年という長きにわたり発展してこられたのは、本会を支えてこられた諸先輩方々をはじめ、会員および賛助会員の皆様の献身的な活動によるものであります。70年の歴史を振り返るとともに、会員および賛助会員へ感謝の気持ちを伝え、本会の更なる発展を誓うため、2019年11月23日(土)、ホテルニューイタヤ本館3階天平の間において、ご来賓7名、会員34名、賛助会員26名、総勢67名に参加していただき、本会創立70周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

記念式典

本会園部理事の司会の下、本会小黒会長による式辞の後、栃木県知事福田富一様、公益社団法人日本診療放射線技師会会長中澤靖夫様、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科学科長内蔵啓幸様より祝辞をいただき、更なる技師会の発展のお言葉を頂戴しました。次にご来賓の群馬県診療放射線技師会会長後閑隆之様、埼玉県診療放射線技師会会長田中宏様、茨城県診療放射線技師会会長川又誠様、本会元副会長菅原敬久様の紹介の後、祝電披露へと進行し式典は滞りなく執り行われました。





記念講演

講師には栃木県出身、ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリストの平野早矢香様をお迎えして、「昨日の自分より一歩前へ～卓球から学んだ挑戦することの大切さ～」をテーマに講演していただきました。オリンピックを経験したアスリートならではの視点から、オリンピック出場に至るまでの苦勞、努力、成果の経緯を具体的に話され、目標に向かってチャレンジすることの大切さを実感させられ、参加者全員が聞き入ってしまうほど大変素晴らしい講演でありました。

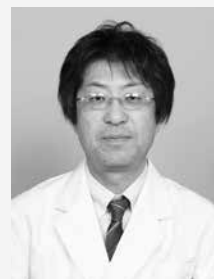
記念祝賀会

ジャズの街・宇都宮にちなみ、ジャズバンドの生演奏が流れる中、入場。本会樋口理事の司会の下、群馬県診療放射線技師会会長後閑隆之様から来賓挨拶、本会松田監事の乾杯で盛大に開宴し、終始心地よいジャズが流れる中、会は最高の盛り上がりとなりました。本会吉成副会長の閉会挨拶では栃木県診療放射線技師会の更なる発展のため、会員そして賛助会員が一丸となり、協力し合い、診療放射線技師の資質向上と県民の皆様の健康と福祉の増進に努めていくことを誓い、記念事業を終えました。

創立70周年記念式典・祝賀会に参加して

地方独立行政法人 栃木県立がんセンター

統括技術部放射線技術科 若 林 克 幸



栃木県診療放射線技師会が創立70周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、この技師会が、「医療における放射線技術の向上」を目的に今日まで多くの研鑽を重ねてきたこと、その活動に役員及び多数のスタッフの方々が共にご尽力されてきたことに深い敬意を表します。

さて、今回の式典は小黑会長の挨拶で始まりました。今後の会における職能団体の役割として「卒後教育の充実」と「技師養成機関との連携の重要性」について述べられました。また、日本診療放射線技師会の中澤会長からは、医師のタスクシフト改革に絡む「技師の業務拡大の可能性」と「時代変化に対応した技師教育プログラム」を準備中であること、国際医療福祉大学放射線・情報科学科の内蔵学科長からは、進化する放射線技術において、「患者ニーズの多様化に 대응される技師教育の必要性」が述べられました。

これらの話を伺い、正直「また研修受けるの？」という混沌とした感情もありましたが、社会背景が日々変わる今日において、医療における診療放射線技師の業務も変化しており、これに伴った行動の必要性を各個人が自覚する時であることを感じました。

記念講演においては、卓球女子メダリストである本県出身の平野早矢香さんの講演がありました。今日の卓球は昔と比べてメジャーな人気スポーツになりましたが、それは各選手が強くなったことから周囲の注目が大きくなり、卓球自体の評価が変わったと話されました。強くなった理由は、①最先端の技術の研究と対応、②海外における経験、③高い目標と意識をあげられ、ご自身も競争相手は自分であり「昨日の自分に負けないこと」を常に意識されたそうです。日頃、雑然および混沌と生きている自分ですが、「人生において目標を持ち前向きに考え行動する」という“当たり前のこと”を再認識させられました。

余談ですが、私は講演会にて壇上直前の席でした。演者紹介映像に感銘を受け、毀れた涙を拭かずに我慢していましたので、“目の前のベソかいた中年男性”を急に思われなかったか心配しています。

今後も栃木県診療放射線技師会の歩みが常に前進し日々進化し続けていくことを願って今回の式典・祝賀会の報告および感想といたします。

令和元年度 第2回卒後教育講座 開催報告

開催日時：令和元年10月26日(土) 15:00～

会 場：獨協医科大学 教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰ

参加人数：45名（会員44名 新卒者1名）



開会の挨拶をする小黒清会長

令和元年10月26日に獨協医科大学にて第2回卒後教育講座が行われました。

講演Ⅰは、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科樋口清孝教授に「画像診断学の基礎－頭部外傷

における救急画像－」についての講義をしていただきました。頭蓋外傷疾患の中から、硬膜外血腫、硬膜下血腫、外傷性クモ膜下出血、挫傷性脳内出血、挫傷性脳内血腫＋びまん性軸索損傷の5つの症例を実際の画像と共に、病理・病態、時間経過における画像の変化などわかりやすく解説していただきました。また、脳内ばかり見るのではなく皮下もよく確認しておくことや、技師は画像だけではなく、撮影時に実際の患者さんを見て検査を行っているため、ブラックアイ徴候やバトルズサイン、髄液耳漏などがあれば読影医などにその旨を伝えることが読影の補助となり、日々の業務に役立てると感じました。前回に引き続き今回もとてもいい勉強になりました。今後ともお願いするとともにありがとうございます。

講演Ⅱでは、「医療被ばく低減施設認定取得促進に向けて」と題して、獨協医科大学病院の福住徹先生から認定取得に向けての取り組み方やアドバイスを、独立行政法人地域医療機能推進機構JCHO船橋中央病院の山本進次先生には、検査において「行為の正当化」「防護の最適化」の視点から、同一人物の画像を経時的に見せていただきました。医療被ばく低減施設認定取得を目指す施設の会員にとってとても参考になる講演でもあり、個人としては技師として初心に戻れるような良い機会をいただきました。

最後になりますが、大変お忙しい中御講演いただき厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



座長を務める木村友昭 理事



国際医療福祉大学
樋口清孝 先生



獨協医科大学病院
福住 徹 先生



JCHO船橋中央病院
山本進次 先生



令和元年度 第1回 第1地区卒後教育講座 開催報告

開催日：令和元年10月10日(木)

会場：国際医療福祉大学

参加人数：26名 [会員18名、学生7名、非会員1名]

2019年10月10日(木)、令和最初の第1地区卒後教育講座を国際医療福祉大学で開催しました。平日夜の開催にも関わらず、会員18名、学生7名、非会員1名と多くの方に参加していただきました。今回は、オリンパスメディカルサイエンス株式会社の木村智幸先生による「内視鏡の構造及び放射線科で行われる内視鏡手技について」と株式会社根本杏林堂の林春代子先生による「造影検査を安全に行うために」の2つの講演を行いました。

木村先生の講演では、内視鏡の構造や画像ができる仕組みを詳細に教えていただき大変勉強になりました。内視鏡については学ぶ機会がほとんどなかったため、大変興味深い講演でした。また、内視鏡を使った放射線検査であるERCPから胆石除去などの治療までを詳細かつ丁寧に講演していただき、参加した学生にとっても大変有意義な時間となりました。林先生の講演では、インジェクターの歴史からインジェクターを安全に使用するために必要な知識について講演していただきました。普段、何気なく使用しているインジェクターですが、ひとつ間違えればシリンジの破損などの事故が起こりかねないため、危機管理の重要性を改めて考えるよい機会となりました。

最後に、ご講演を快く引き受けていただきました、オリンパスメディカルサイエンス株式会社の木村智幸先生、株式会社根本杏林堂の林春代子先生に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



オリンパスメディカルサイエンス株式会社
木村智幸 先生



株式会社根本杏林堂
林 春代子 先生

第1地区幹事 岡 野 員 人

令和元年度 第1回 第2地区卒後教育講座 開催報告

開催日：令和元年11月9日(土) 会場：獨協医科大学病院 臨床医学棟10階講堂

参加人数：13名

テーマ：地域施設が求める医療とは ～診療放射線技師ができること、メーカーができること～

会員発表

当院における検査説明 ～X線照射禁止インスリンポンプの対応～

獨協医科大学病院 木村 友昭

メーカー発表1

富士フィルムが目指す画像診断の未来

富士フィルムメディカル株式会社 営業本部 ITソリューション事業部 河野 安宏 先生

メーカー発表2

医療被ばく管理～被ばく線量管理システム FINO.XManage の紹介～

コニカミノルタジャパン株式会社ヘルスケアカンパニー 医療IT事業部
ソリューション営業部 マーケティンググループ 文屋 貴晴 先生

晩秋の候、獨協医科大学病院で、第1回第2地区卒後教育講座が開かれた。今回は、検査説明としてインスリンポンプの対応を取り上げた。また、地域施設よりAIや医療法改正に向けて知りたいとの要望に応え企画した。



会員発表「当院における検査説明～X線照射禁止インスリンポンプの対応～」では、一つ目に、検査説明について、放射線検査説明に関するガイドラインが令和元年8月に更新になった

と説明があった。

二つ目に、インスリンポンプ、持続グルコース測定器について、どんなものなのか、どんなことに注意するのか説明された。三つ目に、獨協医科大学病院の対応フローについて説明があった。これらの機器の取扱いについては、**放射線検査によって故障する恐れ**があり、正しく動作しないことで患者の状態に危険をおよぼす可能性があるため、**正しい知識と対応が必要**であると感じた。



メーカー発表1「富士フィルムが目指す画像診断の未来」では、一つ目にAIについて説明があり、二つ目に富士フィルムの取り組み、三つ目にSAI viewer紹介、四つ目にSYNAPSE VINCENT最新情報を紹介された。**AI技術**を活用した近い将来の**新たな医療**の可能性を感じた。



メーカー発表2「医療被ばく管理～被ばく線量管理システム FINO.XManage の紹介～」では、一つ目に医療法施行規則改正の経緯を説明された。二つ目に確保すべき安全管理の体制として、責任者の配置、指針の作成、職員研修の実施、線量管理および記録について説明された。三つ目にコニカミノルタの被ばく線量管理システムについて紹介があった。特徴は、画像と線量情報を同時に参照でき、統計や集計に加え、照射録を印刷することができ、線量の記録および管理が行える。講演後、それぞれが聞きたいこと悩んでいることなどが活発に質疑され、とても有意義であった。

第2地区理事 木村 友昭

令和元年度 第1回 第3地区卒後教育講座 開催報告

開催日時：令和元年11月8日(金) 午後6時30分～午後7時40分

会 場：芳賀赤十字病院 ハートクロスホール

参加人数：27名（会員26名 非会員1名）

内 容：「読影の補助 臨床画像からの画像解剖と読影」

〈講師〉芳賀赤十字病院 放射線科副部長 佐々木 崇洋 先生



令和元年度第1回第3地区卒後教育講座を芳賀赤十字病院ハートクロスホールにて開催しました。参加者は会員26名、非会員1名の計27名でした。

内容は、芳賀赤十字病院放射線科副部長の佐々木崇洋先生に「読影の補助 臨床画像からの画像解剖と読影」についてご講演いただきました。

佐々木先生には腹部救急診療における急性腹症を中心に、症状や血液検査・画像検査を考慮して放射線科医がどのようにして診断しているかをお話していただきました。

また、実際の症例をCT画像と共に解説していただき、CTの進歩とともに報告が多くなっているSMA解離とそのフォロー画像、急性腹症として頻度が高い虫垂炎では単純CTの重要性や腸回転異常の症例などをお示ししていただきました。そしてIVRによる止血処置前には活動性出血の有無・出血の程度・出血源特定のためにCTが重要な検査であり、正常な血管解剖を普段から見るようにしておくなどのアドバイスもしていただきました。



栃木県診療放射線技師会では「読影の補助」をテーマに掲げ、各地区で卒後教育講座を中心に勉強会を開催していますが、検査時、最初に画像を見る技師が診断に最適な画像の提供をし、普段から放射線科医など読影医とコミュニケーションを図ることが重要だと再認識できました。

参加者からは活発な質問や意見交換があり、大変有意義な卒後教育講座となりました。

企画、会員への周知、会場準備、受付、記録等、支援をいただいた方

[理事](敬称略)

柏崎 克彦（宇都宮記念病院）

高橋 伸彰（芳賀赤十字病院）

佐藤 宏（栃木県立がんセンター）

園部富美恵（済生会宇都宮病院）

[幹事](敬称略)

高橋 良（栃木県立がんセンター）



第3地区理事 園 部 富美恵

令和元年度 第1回 第4地区卒後教育講座 開催報告

日 時：令和元年9月25日(水) 午後6時30分～

会 場：佐野厚生総合病院 3F 講義室3

参加人数：29名

内 容：「個人被ばく線量計」

〈講師〉長瀬ランダウア株式会社 飯田 泰二 先生

佐野厚生総合病院にて第1回第4地区卒後教育講座を開催しました。今回は長瀬ランダウア株式会社の飯田泰二先生に「個人被ばく線量計」について講演していただきました。

2020年度の法改正予定に伴い、放射線業務従事者の被ばく管理においてどのようなことに注意する必要があるのかを現行法令と比較しながら説明していただきました。講演の中で、水晶体被ばく管理について法改正されると、専用の線量計を付けたり、今まで以上にゴーグルによる遮蔽の必要性が上がってくることでした。

本講演の内容を活かしながら、来年度から予定されている法改正に向けた準備を進めていきたいと考えています。



第4地区連絡員 小堀 太志

令和元年度 第1回 第5地区卒後教育講座 開催報告

開催日時：令和元年11月15日(金) 午後6時45分～午後8時15分

会場：自治医科大学 教育研究棟 中教室2

参加人数：23名（会員17名、非会員6名）

内容：「シーメンスCTの基礎から最新技術まで」

〈講師〉シーメンスヘルスケア株式会社CT事業部 金子 達也 先生

令和元年11月15日(金)、第1回第5地区卒後教育講座が開催されました。

今回のテーマは「シーメンスCTの基礎から最新技術まで」と題してシーメンスヘルスケア株式会社CT事業部の金子達也先生にご講演をいただきました。

CTの歴史から始まり、現在のCTのシェア状況、シーメンスCTの特徴と最新技術といった内容でした。

シーメンスCTの特徴として正確なCT値が得られるという話がありました。CT値は水を基準とした相対値と認識していたので、その値は不変的なものだと考えていましたが、装置によって違いがあることを初めて知りました。

最新技術では低被ばく技術、造影剤低減法、二管球CTでの高速撮影法などの話がありました。どれも症例を提示しながらの話で視覚的に分かりやすいものでした。

我が国日本は、CT大国とまで言われるほどCTが普及されています。その分、他の国に比べ医療被ばくが増えていると聞きます。今回の講演のような最新技術は、医療被ばく低減が進む現代において必要不可欠なものだと改めて認識しました。



第5地区理事 木村 和弘

診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」

■ 開催日：令和元年10月6日(日)

■ 会場：獨協医科大学 120番教室

令和元年度診療放射線技師基礎技術講習を獨協医科大学で開催した。

受講者は31名で、うち5名は県外からの受講だった。

テーマは「乳房撮影」で、以下の内容（講師）だった。

1. 読影とカテゴリー分類（獨協医科大学病院 石井純子先生）
2. 乳がんの臨床（栃木県立がんセンター 大澤幸代先生）
3. デジタルマンモグラフィ（済生会川口総合病院 土田拓治先生）
4. マンモグラフィの基礎と品質管理（熊谷総合病院 亀山枝里先生）
5. 撮影技術と臨床画像評価基準（那須赤十字病院 諏佐裕美先生）
6. 乳腺MRI（那須赤十字病院 大木敦史先生）
7. 乳腺超音波（那須赤十字病院 吉成亀蔵先生）

講師の先生方には、日本乳癌学会の乳癌取扱い規約や乳癌診療ガイドラインをわかりやすく解説していただいたり、臨床画像を提示して所見を述べていただいたりと、大変有意義な内容であった。

講義の合間には、各講師間、講師－受講生間で名刺交換、質疑応答が取り交わされ、「乳房撮影」における地域ネットワークが構築されたと感じた。

受講者31名すべてに修了証書が授与され無事閉会したが、日本診療放射線技師会及び栃木県診療放射線技師会では、定期的に講習会を開催しており、基礎技術の習得、記憶の定着、横のつながりの構築等、得るものは多いかと思うので、引き続き、会員の皆さんの参加を期待して開催報告とする。



理事 佐藤 宏

第12回業務拡大に伴う統一講習会 開催報告

開催日：令和元年11月3日(土)・4日(日)

会 場：獨協医科大学病院 教育医学科6・7階 シミュレーション訓練室1・2

参加人数：38名

栃木県開催は今回を入れて残り2回で終わってしまいます。そのせいか40名定員のところ38名の参加者となりました。申し込みの不具合などにより40名の定員に満たない参加者数でした。しかし、申込者の中には定員に達したため申し込み不可となっていたと言います。ここに来て駆け込みの申込者が増えているのが分かります。

今回も同じように、DVDの講義と実習にて開催されました。業務拡大に伴う統一講習会の趣旨は診療放射線技術法が2014年6月18日に一部改正されたことです。CT・MR検査の自動注入器による造影剤の注入と注入後の針の抜刺や止血、下部消化管検査のネラトンチューブ挿入、画像診断放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入などの業務拡大がなされました。この業務を行うために医療の安

全を確保することが求められていて、このために必要な知識、技能を習得することが目的であり、講習会は強制されるものではないですが診療放射線技術の法令改正によるところで受けていただきたいと思っています。

参加者の皆さんは、一般ですと3連休となるところを朝早くから集まり遅い時間までDVDの講習を受けなければならず、つらいところと思いますが頑張っていました。実習では班ごとに静脈注射の技針、下部消化管検査、IGRT、一次救命処置法に至るまでをグループで慣れない手つきながら全員が実習を行いました。講師の方々ありがとうございます。明日から仕事に生かせるものは生かしていただきたいと思っています。



静脈注射関係実習



BLS 関係実習



下部消化管検査・IGRT 関係実習



栃木県におけるIVR装置線量測定の結果

栃木県における IVR装置線量測定の結果

栃木県では、「安心で安全な医療の提供」を目指し、2017年より栃木県診療放射線技師会が県内における線量測定の大規模調査を行っています。

今回、2017年一般撮影条件調査に引き続き2度目の調査として、2018年に「栃木県におけるIVR装置線量測定の結果」を行いましたので結果をご報告いたします。多くのご施設様に調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

今回の調査結果をもとに、自施設と共に他施設の値を知り情報共有を行い、DRIsの値と比較し、それぞれのご施設に合った最適化の一助としていただければ幸いです。

栃木県における IVR装置線量測定結果

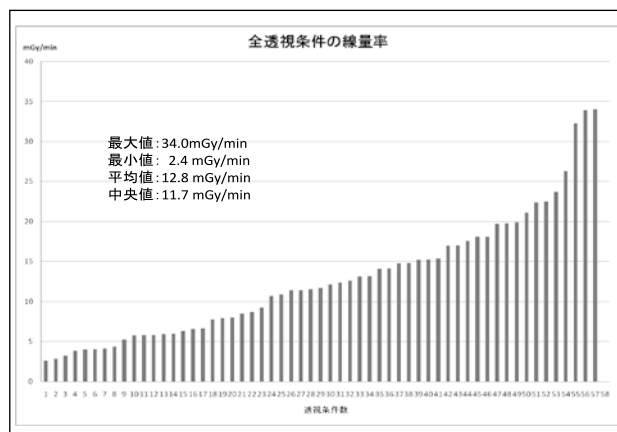
2018年
栃木県診療放射線技師会

協力施設

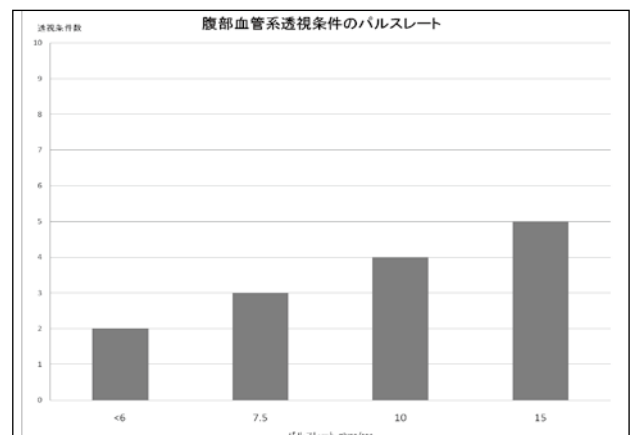
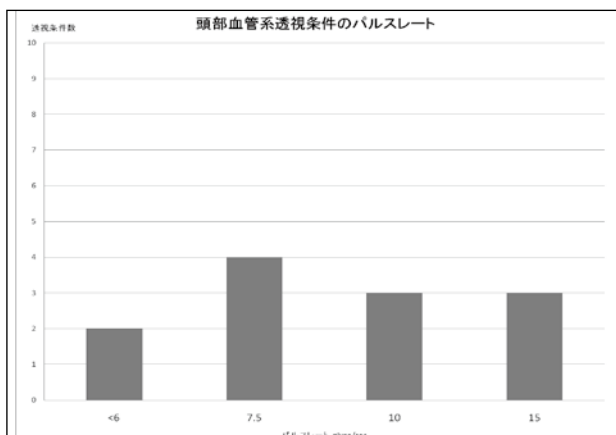
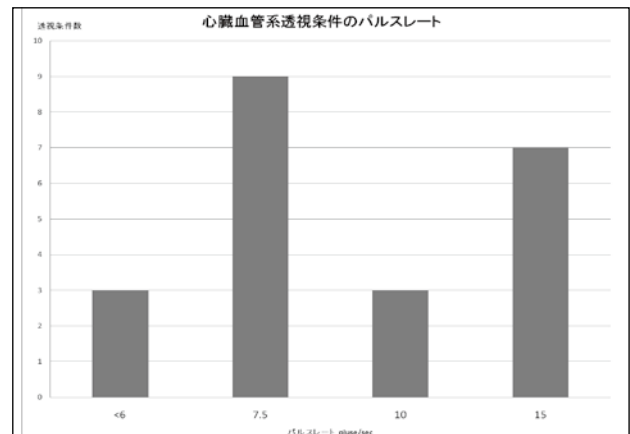
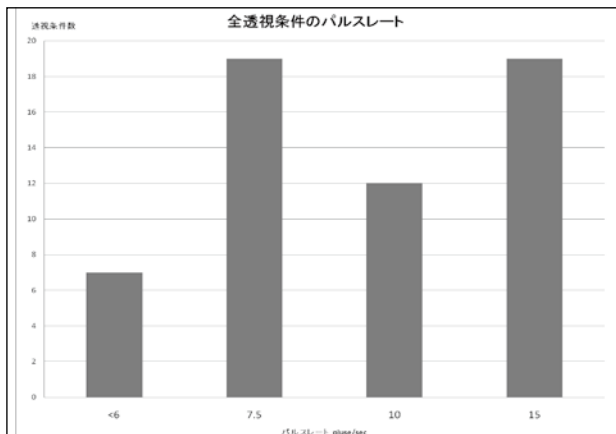
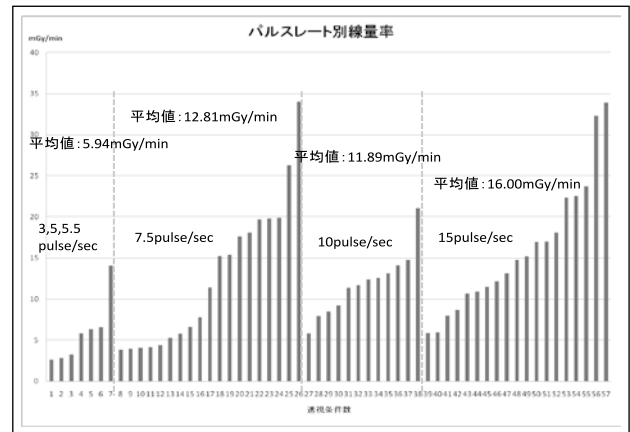
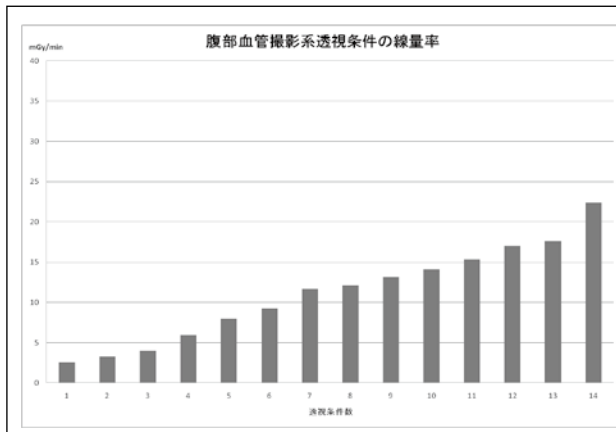
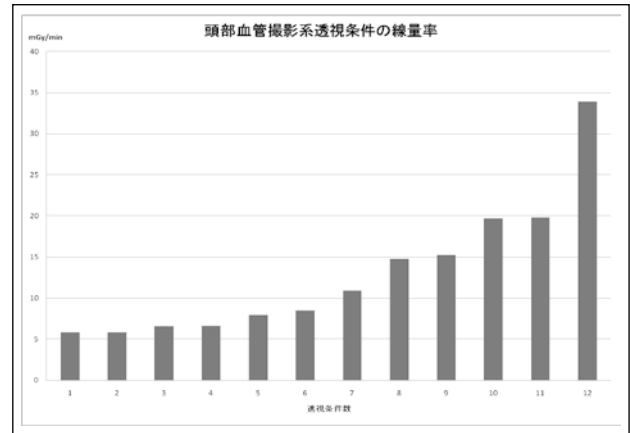
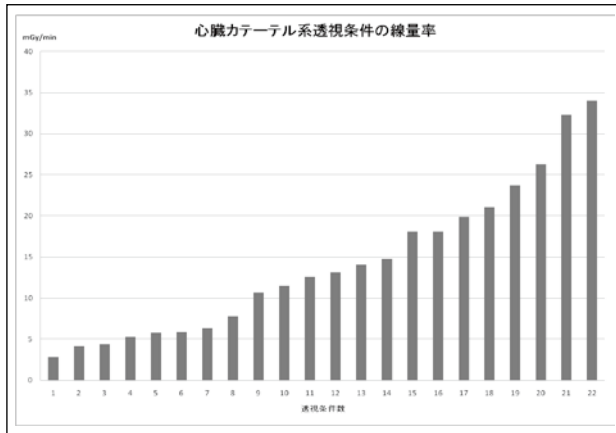
- ・ 足利赤十字病院
- ・ 上野実業総合病院
- ・ とちぎメディカルセンターしもつが
- ・ 国際医療福祉大学塩谷病院
- ・ 佐野厚生総合病院
- ・ 佐野市民病院
- ・ 自治医科大学附属病院
- ・ 国立病院機構栃木医療センター
- ・ 獨協医科大学病院
- ・ 那須赤十字病院
- ・ 芳賀赤十字病院
- ・ 新小山市市民病院
- ・ 栃木県立がんセンター
- ・ 国際医療福祉大学病院

順不同

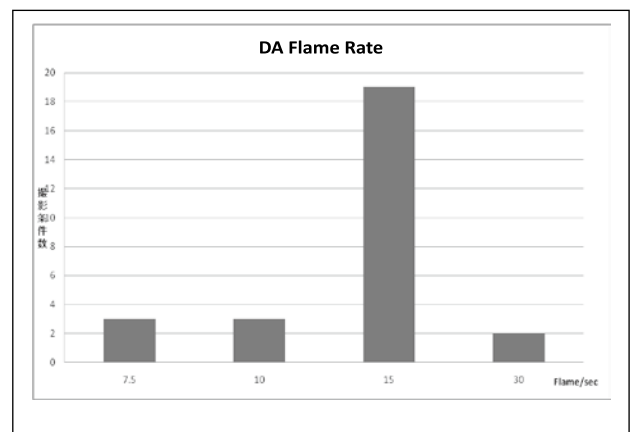
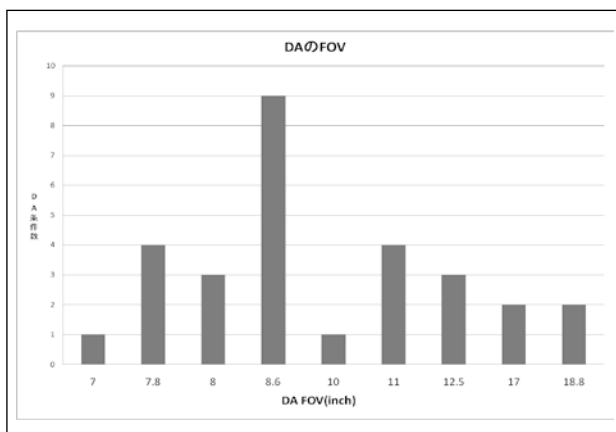
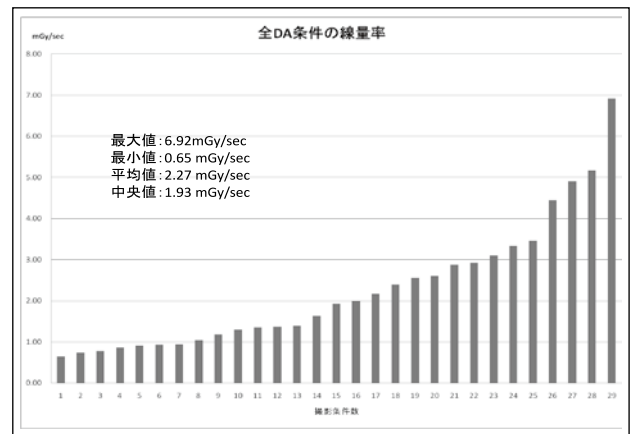
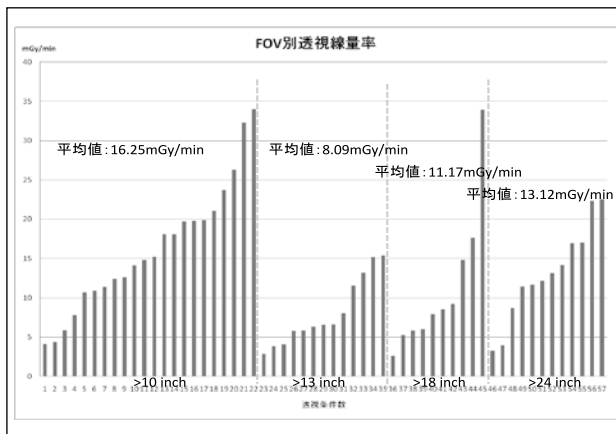
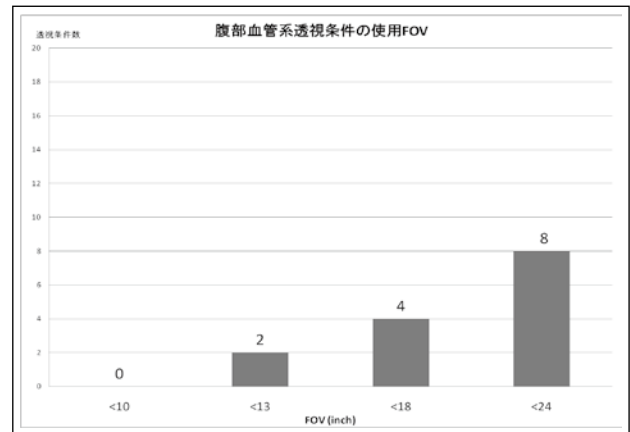
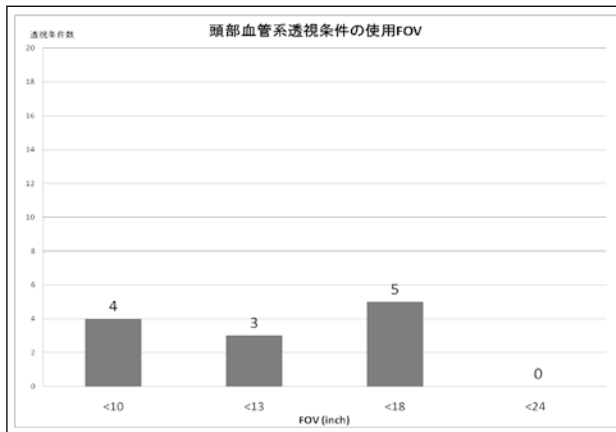
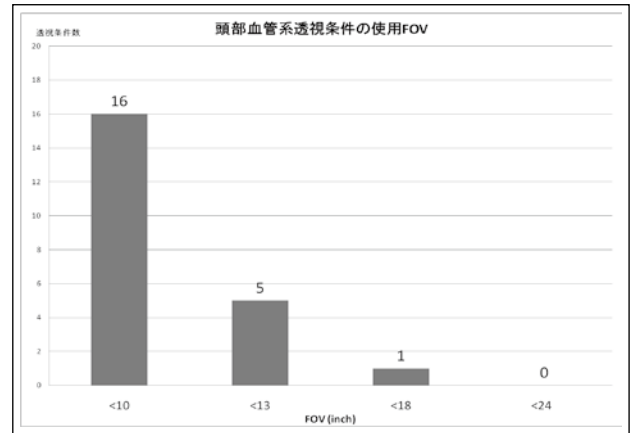
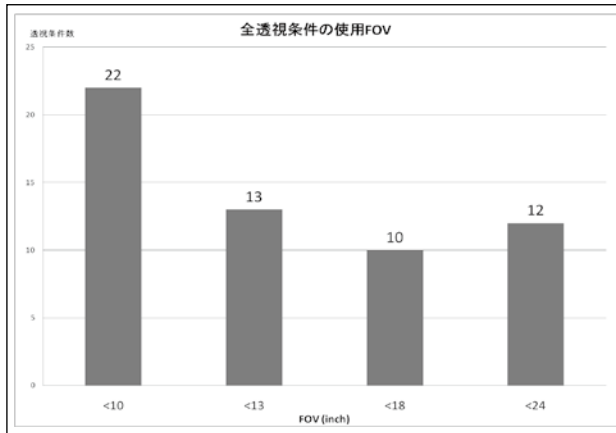
機器	メーカー	装置名	経過年数 (2018年)	検出器	Plane	用途	線量計	検出器	IVR装置 技術在籍 施設数	総線量減 率測定	備考
1	SIEMENS	Artis zee BA	3	FPD	Bi Plane	心臓	DIADOS T60064	半導体	○		
2	TOSHIBA	INFX-8000VCF/SP	4	FPD	single	心臓	—	半導体			
3	SIEMENS	Artis FA/BA	15	IL	single	腹部	—	半導体			
4	TOSHIBA	INFX-8000C	7	FPD	single	頭部、腹部	Radical Accu dose	電線箱			
5	TOSHIBA	INFX-8000V	7	FPD	Bi Plane	心臓	Radical Accu dose	電線箱			
6	TOSHIBA	INFX-8000V	<1	FPD	single	腹部	Radical Accu	電線箱			
7	SIEMENS	Artis zee PURE	<1	FPD	CT single	腹部	Piranha	半導体	○		
8	PHILIPS	Azurion	<1	FPD	Bi Plane	頭部	Piranha	半導体	○		
9	SIEMENS	Artis zee PURE	<1	FPD	Bi Plane	心臓	Piranha	半導体	○		
10	SIEMENS	Artis zee PURE	<1	FPD	Bi Plane	心臓	Piranha	半導体	○		
11	SIEMENS	Artis Q ZEN	<1	FPD	Bi Plane	心臓	Piranha	半導体	○		
12	SIEMENS	Artis zee floor	5	FPD	single	心臓	Un Fors Xi	半導体	○		
13	SIEMENS	Artis dBA	11	FPD	Bi Plane	心臓	Un Fors Xi	半導体	○		
14	SIEMENS	Artis zeego	7	FPD	single	頭部、腹部	Un Fors Xi	半導体	○		
15	SIEMENS	Artis Q	5	FPD	single	頭部、胸部	Un Fors Xi	半導体	○		
16	PHILIPS	Allura Xper FD20	12	FPD	CT single	心臓	Un Fors Ray Safe	半導体	○		hybrid OR
17	TOSHIBA	artivis D200	2	FPD	Bi Plane	心臓、その他	ACOW Dose	電線箱	○	○	
18	SIEMENS	Artis dTA	10	FPD	single	頭部、心臓、腹部、その他	ACOW Dose	電線箱	○	○	
19	SIEMENS	Artis dBA	10	FPD	Bi Plane	頭部、心臓、腹部、その他	ACOW Dose	電線箱	○	○	
20	SIEMENS	Artis Q Ceiling	3	FPD	single	頭部、心臓、腹部、その他	ACOW Dose	電線箱	○	○	hybrid OR
21	SIEMENS	Artis Q Isolane ICT	<1	FPD	CT Bi plane	頭部、腹部、その他	ACOW Dose	電線箱	○	○	
22	SIEMENS	Artis dTA	12	FPD	single	頭部、心臓、腹部、その他	Radical Accu	電線箱	○		
23	SIEMENS	Artis zee BA Twin	7	FPD	Bi Plane	頭部、心臓、その他	Radical Accu	電線箱	○		
24	PHILIPS	Allura Clarity FD20	5	FPD	Bi Plane	頭部、心臓、腹部	Piranha	半導体			
25	TOSHIBA	INFX-8000C	11	FPD	single	頭部、心臓、腹部	Piranha	半導体			
26	TOSHIBA	INFX-8000C	2	FPD	single	頭部、心臓、腹部	Piranha	半導体			
27	TOSHIBA	INFX-8000V/N7	2	FPD	Bi Plane	心臓	Piranha	半導体			
28	TOSHIBA	INFX-8000C/UT	9	FPD	CT single	腹部	Piranha	半導体			
29	TOSHIBA	INFX-8000V/JC	5	FPD	Bi Plane	心臓	ray safe x2	半導体			



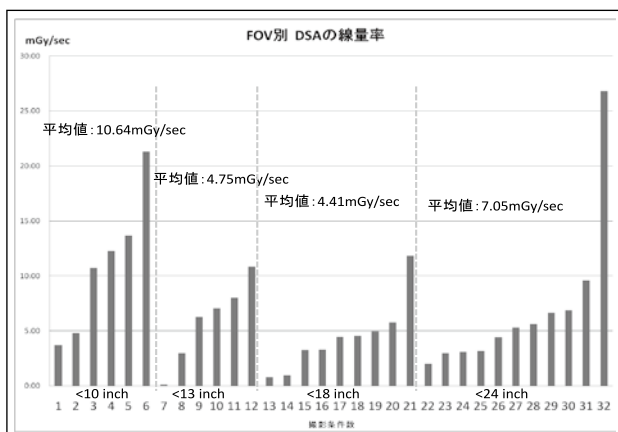
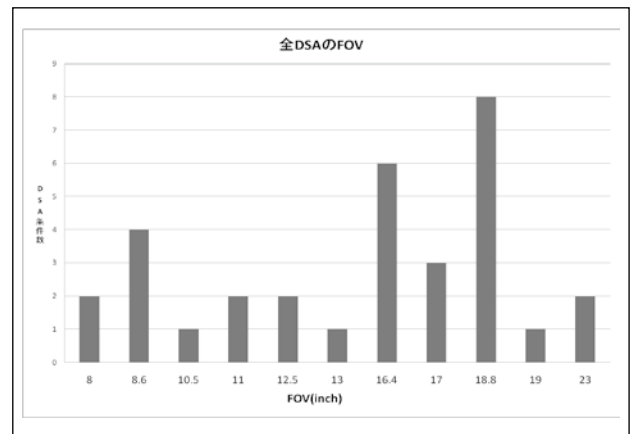
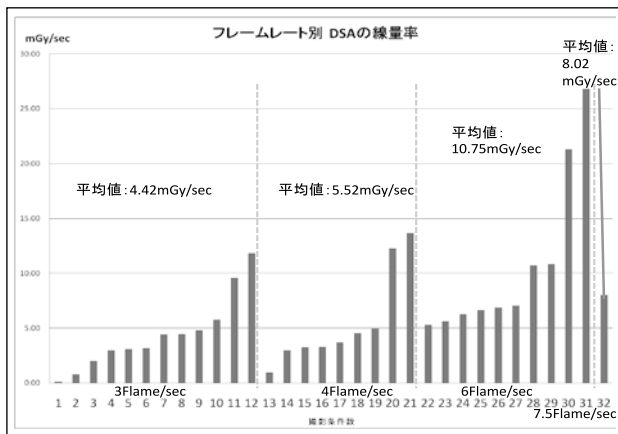
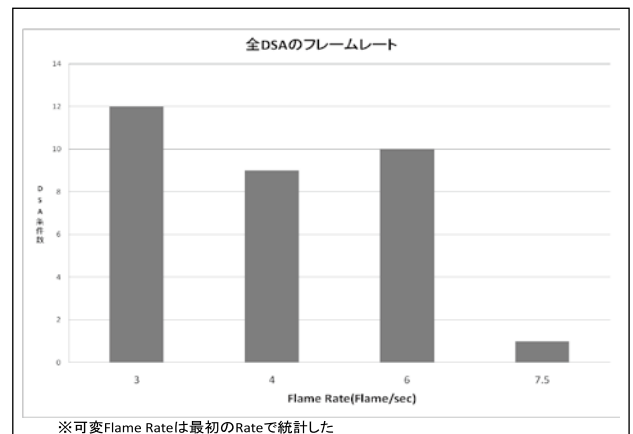
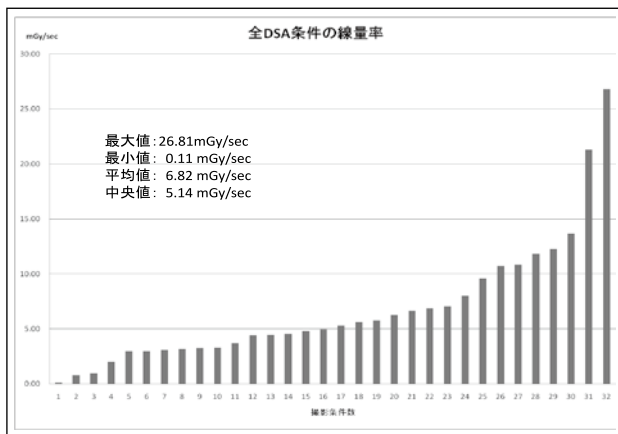
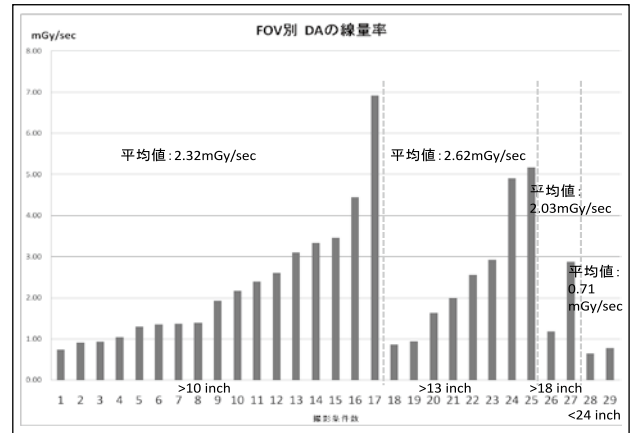
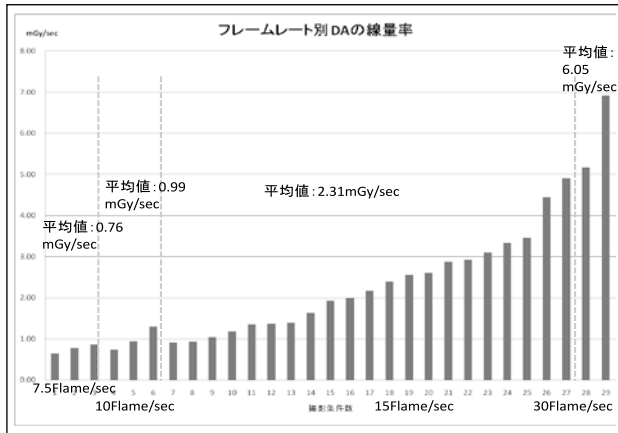
栃木県におけるIVR装置線量測定の実験結果



栃木県におけるIVR装置線量測定の実績結果



栃木県におけるIVR装置線量測定の実績結果



統計誤差 1 測定に使用された線量計

- DIADOS T60064 T11003
- Radical Accu dose
- Radical Accu Gold+
- Pirranha
- Un Fors Xi
- Un Fors Ray Safe
- ACW Dose
- ray safe x2
- 半導体
- 電離箱
- 電離箱
- 半導体
- 半導体
- 半導体
- 電離箱
- 半導体

統計誤差 2

測定に使用されたファントム

- 技師会からの指定は
アクリル20cm or 水23cm
- Mix DP 20cmでの測定があった
- 1施設
- 2機
- 透視 4条件
- DA 2条件
- DSA 2条件

統計誤差 3

測定時のSID

- 技師会からの指示値は100cm
- 90cmでの測定があった
- 1施設
- 1機
- 透視 1条件
- DA 1条件

総評

- 栃木県内14施設29台の基準線量測定を行った。得られた透視線量率の75パーセンタイル値は17.0mGy/minであり、DRLs2015よりも低い値であった。しかし心臓カテーテル系に限定すると20.5mGy/minであった。
- 今回線量測定が初めて行われた装置やDRLs2015を大幅に超える装置があった為、今後最適化に向けて動いて行く事が望まれる。
- 今回のようなアンケートを用いての統計の場合、測定者の違いによるヒューマンエラーが生じる可能性がある。来るDRLs2020での調査やその他実測が必要になる場合には、測定者を限定して行うことでよりクリアなデータ取得が可能である。

謝辞

- おかげさまで、栃木県をあげて大規模な調査ができました。ご協力頂きましたご施設、ご担当者様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。
- 測定結果や透視条件の再評価の際にご不明点がございましたら、栃木県診療放射線技師会までお気軽にお問い合わせ下さい。

Mail: tart@ce.mbn.or.jp

第35回日本診療放射線技師学会に参加して

那須赤十字病院 大 木 敦 史



令和元年9月14日(土)～16日(月)の3日間にわたり、埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティにおいて、第35回日本診療放射線技師学会が開催されました。『国民と共にチーム医療を推進しよう 彩の国から未来へ』をテーマに掲げており、テーマに沿った様々なプログラムが考えられていました。アクセスが抜群なこともあってか、全国から多数の参加者で賑わいました。

今回の大会で一番感じたことは『被ばく』に対するみなさんの興味でした。

来年度2020年4月より、医療法施行規則一部改正により、『医療放射線管理責任者』の任命の義務化や、患者の被ばくに関しても記録や保存が義務づけられます。また、水晶体被ばくの閾値の変更などもあってか、『放射線被ばく』に関する演題や講演が多く、線量管理ソフトの導入に関する講演に限っては会場に人が溢れて、座れず立ち見する方がたくさんいるほどでした。被ばく管理ソフトの運用、導入の仕方や運用しからの問題点といった内容に、みなさん興味津々でした。私の施設でも年度内には導入を検討していましたので、たくさんのメモをして、院内報告会にて周知いたしました。初めてのことなので、他施設の動向はやっぱり興味が湧きます。こういった全国で問題となっているものに対して活発な議論が行えたことは、かなり良かったと思います。

もう一つ賑わっていたのが『AI』でした。

もちろん、『Autopsy imaging』も専門技師が新設されるようで賑わいをみせていましたが、人工知能の『AI』のほうがより幅を利かせていた感じでした。CTでもMRIでも各メーカーが特徴あるAIの技術を使った再構成などが多くみられました。

元号が令和に変わり、放射線医学の分野でも人工知能という新しい技術が現実のものとなってきました。時代が変わったことを実感する学会でした。



お知らせ

情報誌「あすたーと」の電子配信化について

日頃より本会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。栃木県診療放射線技師会では年に2回情報誌として「あすたーと」を発行し会員の皆様に様々な情報をお届けしてまいりました。

歴史を遡りますと、ニュースとちぎが終刊を遂げ、当時の社団法人栃木県放射線技師会会長の赤羽泉により2004年に名称を広く会員から公募し、新しい情報誌として「あすたーと」が創刊されました。それから早15年、現在46号を発行しています。

そして、2020年春より電子版「あすたーと」として会員の皆様にメーリングリスト（ML）にて配信させていただくことにしました。

これからも栃木県診療放射線技師会の歴史を活字として残すとともに過去を検証し現在を伝え未来を予測するような紙面づくりに取り組んでまいりたいと思います。

「わかりやすい技師会」を目指し皆様に情報をお送りし、今後よりいっそう情報共有を行っていききたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

発展させよう『情報誌 あすたーと』

■お願い

MLによる配信を行うため、全会員を対象に日本診療放射線技師会に登録してあるメールアドレスをMLに登録させていただき、試験メールを送信し受信の有無を確認させていただきます。

メールアドレスの変更を希望される方は、日本診療放射線技師会 JART情報システム（以下JARTIS）から変更をお願いします。

また、メールアドレスを登録していない方は、JARTISから登録をお願いいたします。

日本診療放射線技師会 JART情報システム（JARTIS）
https://jart.nexs-crm.nexs-service2.jp/jart_portal/kyotsu/top.html

不明な点等ございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

栃木県診療放射線技師会事務所 tart@ce.mbn.or.jp



第95回 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会定時社員総会議事録

日 時：令和元年5月25日(土) 午後4時20分

場 所：獨協医科大学 臨床医学棟10階講堂〈下都賀郡壬生町小林880〉

総会員数：494名（令和元年5月25日現在）

出席会員数：350名（内訳：本人出席28名、委任状出席275名、書面表決による出席47名）

開会の経過

定刻に至り、業務執行理事柳沢三二郎 開会を宣する。

会長小黑清より開会挨拶の後、勤続20年および35年功労表彰がおこなわれ、35年功労者12名と20年功労者7名が表彰された。

続いて総会運営委員長木村和弘 総会運営委員会より報告する。本日、令和元年5月25日午後4時20分現在での一般社団法人栃木県診療放射線技師会の正会員数は494名である。本日の会場出席者数28名。委任状による出席者数275名。書面表決による出席者数47名である。したがって有効出席者数は350名となり、本会定款第18条「社員総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。」の条文を満たしており、本日の総会は有効に成立する。

続いて議場に、議長、議事録作成人並びに議事録署名人の選出方法を諮ったところ、執行部一任となり、満場一致をもって、議長に理事三原健二、議事録作成人に理事牧島正道、議事録署名人に代表理事小黑清、理事柳沢三二郎が選任された。

議長三原健二より挨拶の後、議案の審議に入った。

議長：三原健二 第1号議案平成30年度事業報告、第2号議案平成30年度会計決算報告および第3号議案平成30年度監査報告は関連する議案であるため、第1号議案、第2号議案、第3号議案は一括して審議することとする。

第1号議案

議長：三原健二 第1号議案 平成30年度事業報告を執行部より報告願いたい。

代表理事：小黑 清 議長の求めにより平成30年度会務経過の総括を資料に基づき報告する。

栃木県診療放射線技師会は一般社団法人であることから、会員に特化した事業のみを行うことができるが、本会定款等に記載されている「診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、医療放射線に関する技術及び知識の向上を図り、医療放射線の適正利用を推進し、もって医療と保健の維持発展に寄与する」に則り事業を推進してきた。

平成27年4月に施行された「診療放射線技師法施行規則及び臨床検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令」により、診療放射線技師の業務範囲が見直され、新たな業務が追加された。そのため日本診療放射線技師会で開催している業務拡大に伴う統一講習会は、令和2年の春までに会員の受講100%を目指している。栃木県においても100%を目指して本年度3回開催しこれまでに10回開催したが、現在67%の受講率である。医療安全の確保の観点から受講することが望ましいことを啓蒙してきたつもりであるが、会員に十分に浸透させることができなかった。

平成22年厚生労働省医政局長から「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の通知が発せられ、診療放射線技師を積極的に活用する業務として、画像診断における読影の補助を行うこと、放射線検査等に関する説明・相談を行うことが明記されている。栃木県診療放射線技師会としても研修会等において画像診断の研修を積極的に取り入れチーム医療の一員として読影しやすい有益な画像を提供すべく学術の向上を目指し、読影の補助をテーマに年3回の卒後教育講座を行った。また、放射線検査等に関する説明・相談について、各地区の卒後教育講座で研修を行った。

会員が勤務する県内医療機関の管理職の方々を対象とした「技師長サミット」を開催した。本年度で3回目の開催となったが、本県に於いて技師長、副技師長の方々が一堂に会することは稀であり、施設間の交流の場としての一助にもなったのではないかなと思う。

栃木県内における防護の最適化のための診断参考レベル（Diagnostic Reference Level:DRL）の調査として、血管撮影の撮影条件に関するアンケート調査を行った。アンケートの結果は集計して本会で開

催している学術研究発表会でアンケート結果を発表したことで、本県の医療被ばくの実態把握とともに防護の最適化を進めることができたのではないかと考える。

さらに、日本診療放射線技師会で行っている「医療被ばく低減施設」の認定取得に向けて、認定取得のノウハウなどを提供する認定取得研修会を開催した。「安心できる放射線診療」を国民へ提供するための事業として各施設の関心が高く、多くの方に参加していただいた。

平成30年度（2018年度）（平成30年（2018年）4月1日から平成31年（2019年）3月31日）は、6項目を重点項目として事業を行った。以下総会資料のとおりである。

第2号議案

議長：三原健二 続いて、第2号議案 平成30年度会計決算報告を執行部よりご説明いただきたい。

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより資料に基づき報告する。小黑会長に代わり私から報告させていただきます。

決算書は事前に配布してあるので、概略のみ報告させていただくこととする。まず、正味財産増減計算書について説明する。平成30年度の経常収益は6,329,004円で、対前年度比171,864円の増収となった。経常費用は6,525,179円で対前年度比626,331円の支出増となっている。

経常収益から経常費用を引いた当期経常増減額は、196,175円の減となり、正味財産合計は2,567,152円である。なお、科目ごとの詳細については、正味財産増減計算書と内訳書の当年度と前年度の増減を見て、状況を確認していただきたい。

貸借対照表内訳書より、流動資産合計2,474,150円が次期繰越流動資産となる。

以上、報告する。

第3号議案

議長：三原健二 続いて第3号議案 平成30年度監査報告について監事より報告願いたい。

監事：茂木常男 議長の求めにより監査結果を報告する。

総会資料の文書中央の「ふぞく」の漢字をこざと偏に訂正願います。

4月6日土曜日、本会事務所において会長、副会長、常務理事、財務担当理事、総務担当理事および事務職員立ち会いのもと、平成30年（2018年）4月

1日から平成31年（2019年）3月31日までの平成30年度の理事の職務執行、公益目的支出計画実施報告書について監査を実施し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条）の規定に基づき監査報告書を作成し、以下の通り報告する。

監査の方法及びその内容については、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査した。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査した。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査した。その結果、事業報告等の監査結果について、事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当技師会の状況を正しく示しているものと認める。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果について、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当技師会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認める。

議長：三原健二 第1号議案から第3号議案の報告について、質問等があれば承る。

議長は、第1号議案、第2号議案、第3号議案についての質問等を議場に諮ったが、特に無かった。

議長は、第1号議案について採決をおこなった。会場出席者による採決は、満場一致により第1号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第2号議案について採決をおこなった。会場出席者による採決は満場一致により、第2号議案が可決承認された。

議長は、続いて、第3号議案について採決をおこなった。会場出席者による採決は満場一致により、第3号議案が原案どおり可決承認され、ここで、第1号、第2号、第3号のすべてが原案どおり可決承認されたことを告げた。

第4号議案

議長：三原健二 第4号議案 報告事項 令和元年度事業計画・収支予算についてであるが、この議案は報告事項であるから、あらかじめ総会資料を見て頂いていることを前提に、報告は省略させていただく。

議長は、令和元年度事業計画・収支予算について質問等を議場に諮る。

須田会員（那須中央） 確認をしたい、令和元年度事業計画である医療被ばく低減施設認定について2020年4月からの厚労省医療被ばく低減に関する法改正に向け技師会では講習会等の取り組みについての考えはあるか。

代表理事：小黒 清 医療被ばく低減施設認定取得に向けた活動は続けるが、法改正については現時点では詳細は不明であるが詳細が解り次第会員に伝達していきたい。

議長：三原健二 先ほど述べたとおり、この議案は報告事項であるため、採決はせずに次の議案に移る。

第5号議案 その他

議長：三原健二 続いて第5号議案のその他についてであるが執行部から何かあるか。

執行部からは特にない。

増淵会員（那須日赤） 昨年度、技師会から依頼され血管撮影線量測定を行った。今年度は全国学術大会において報告する。今年度当院で線量計とファントムを購入予定であるので今後持参して各施設訪問し測定したいが通信費等で技師会に協力は得られるか。

代表理事：小黒 清 可能な限り協力をしていく。

業務執行理事：柳沢三二郎 血管造影線量測定結果は近日中にホームページにアップするので利用して頂きたい。

その他の質問、提案等について議場に諮ったが、特になかった。

第6号議案

議長：三原健二 第6号議案 令和元年・2年度役員選挙について選挙管理委員会よりご報告願いたい。

選挙管理委員長：杉岡芳明 選挙管理委員会から報告する。

本会定款第24条の規定により、「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとなる。」本会役員選任及び解任規程第6条1項「選挙の公示は

社員総会の3月前までとする」の規定により、平成31年2月18日に、一般社団法人栃木県診療放射線技師会令和元年・2年度役員選挙の公示を行った。

立候補届出期限は平成31年4月25日(木)とし、役員選任及び解任規程より、理事立候補者17名と監事立候補者2名について、平成31年4月26日(金)に立候補者届けの受理及び資格審査を行い、すべて問題はなかったことから、候補者氏名の公示を同日の令和元年5月2日(木)におこなった。

次に、本会定款第21条及び役員選任及び解任規程第11条の規定により、「理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する」「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに決議をおこなわなければならない」そして、「当選は正会員の過半数をもって行う」とある。

ここで、規定により候補者名を1名ずつ読み上げるので、賛成の場合はその都度、拍手願いたい。

選挙管理委員長は、17名の理事候補者および2名の監事候補者の氏名を読み上げて候補者毎に決議をおこなった。

理事候補17名

吉成 亀蔵	那須赤十字病院
樋口 清孝	国際医療福祉大学
成田 充穂	国際医療福祉大学病院
小黒 清	獨協医科大学病院
金田 幹雄	獨協医科大学病院
木村 友昭	獨協医科大学病院
園部富美恵	済生会宇都宮病院
牧島 正道	栃木県立がんセンター
佐藤 宏	栃木県立がんセンター
柏崎 克彦	宇都宮記念病院
高橋 伸彰	芳賀赤十字病院
和田 倫行	佐野厚生総合病院
須藤 昌彦	足利赤十字病院
大隅 久人	佐野市民病院
小林 和宗	自治医科大学附属病院
大橋 俊之	自治医科大学附属病院
木村 和弘	とちぎメディカルセンターしもつが

監事2名

柳沢三二郎	自治医科大学附属病院
松田 悟志	とちぎメディカルセンターしもつが

決議の結果、理事及び監事候補者は全員承認され、当選となった。

選挙管理委員長杉岡芳明は、当選した理事及び監事候補者各々に就任の承諾を確認し、全員が就任を承諾した。

選挙管理委員長：杉岡芳明 以上をもって、令和元年・2年度役員選挙を終了とし、選挙管理委員会からの報告を終了とする。

議長：三原健二 只今、新理事が選任されたが、この中から代表理事並びに業務執行理事を選任する臨時理事会を開催するため、総会は暫時休憩とし、臨時理事会終了後に再開する。

休 憩

議長：三原健二 これより議事を再開する。新代表理事より業務執行理事を発表願いたい。

代表理事：小黒 清 休憩中に開催した第2回理事会において、次のとおり選任されたので報告する。

代表理事 (会 長) 小黒 清
業務執行理事 (副会長) 金田幹雄
(副会長) 吉成亀蔵
(常務理事) 牧島正道
(総務部長) 須藤昌彦
(財務部長) 佐藤 宏
(学術部長) 大橋俊之

以上、令和元年・2年度の代表理事並びに業務執行理事が選任された。

議長は、本日の第95回定時社員総会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

業務執行理事：柳沢三二郎 閉会を宣し、午後5時5分散会した。



平成30年度 第1回 理 事 会 議 事 録 (抄)

日 時：平成30年4月18日(水) 午後6時30分 場 所：獨協医科大学病院 2階放射線部前 会議室
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、
池田卓義、三原健二、佐藤 宏、高橋伸彰、大橋俊之、木村和弘、加藤恵二
(監事) 荻原二三雄、茂木常男
欠席者：(理事) 須藤昌彦、樋口清孝、木村友昭

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事木村和弘が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事荻原二三雄が選任された。

第1号議案 平成29年度第7回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成29年度第7回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成29年度第7回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 理事会資料に基づき会長報告する。

全労済より契約更新の通知が各理事へ届いてい

ると思う。本日持参した理事は金田理事へわたしてほしい。

哇元将吾氏が小説を出版したことを記念して「出版記念パーティー」が4月24日18：30分よりホテルニューオータニガーデンタワー宴会場にて開催される。会長出席予定。招待状もあるので参加可能な理事に配布する。参加した理事は旅費を金田理事へ連絡するように。

理事会での監事欠席の場合の議事録署名人について、定款と諸規定を確認したところ出席した監事のみ署名でよいことが判明したので、以後そのように対応する。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 会費等に関する規則の改正案について 業務執行理事：福田敏幸 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

日本診療放射線技師会の規則に則って35年以上継続して会員となっている者の会費について「(5)

日本診療放射線技師会の会費納入規程第9条（被表彰者の免除）に該当する者で、35年以上継続して会員であった者は翌年度以降のこの法人の会費も前項の規定に拘わらず終身にわたって免除されるものとする」の追加条文の説明と提案。

議長：小黒 清 補足説明

日本診療放射線技師会では50年勤続表彰を受けた者は会費無料の規定があるが、栃木県診療放射線技師会では同種の規定が無かったので、第2号議案の提案に至る。

議長は本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 出張旅費規程の改正案について

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、理事会資料に基づき報告する。

出張旅費規程第3条に「但し、休務日に出張する場合は、申し出により自宅から目的地までとする事もできる。」の追加条文の説明と提案。

業務執行理事：柳沢三二郎 現行の旅費規程は各施設から出張先までの交通費がでている。施設までの交通費は各施設から支給されているものとみなしていた。しかし、休務日では施設までの交通費が施設より支給されていないことが判明。よって休務日に関しては自宅より出張先までの交通費を支給。ということになった。

業務執行理事：金田幹雄 現行では勤務先から来ていることが前提で交通費を前もって計算し当日支給している。本来なら旅費請求書を提出してから後日支給となるが、その場合支給が滞ってしまう可能性がある。振込では手数料が掛かってしまう。なので、休務日を確認しながら現行通りの支給方法で支給していきたい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 平成29年度事業報告（案）について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

日にち、氏名等を確認し誤字脱字があったら至急報告。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 平成29年度会計決算報告（案）について

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資

料に基づき報告する。

平成29年度を終え、正味財産合計が282万3,327円となった。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 平成29年度監査報告について

監事：茂木常男 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成30年4月7日16時より本会事務所において監査を行った。監査結果は理事会資料の通り。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 第1回卒後教育講座開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

平成30年5月26日(土)（集合14：00、受付14：30、開催15：00）獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱにて開催予定である。内容は以下のとおりである。

①「画像診断学の基礎（呼吸器）」

樋口先生15：00～15：50

②「医療被ばく低減施設認定取得へ向けて」

獨協医科大学病院 福住会員15：50～16：20

議長は第7号議案と第8号議案は一括して承認をとることを宣言。

第8号議案 第94回定時社員総会開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

平成30年5月26日(土)（受付16：20、開催16：30）獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱにて開催予定である。

役割分担にて第1回卒後教育講座の座長が理事佐藤宏から理事高橋伸彰に変更となる。

平成30年度栃木県診療放射線技師会会長表彰にて本会事務所勤務の矢野氏が勤続25年になるので感謝状と記念品を贈りたい。

議長は第7号議案と第8号議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第9号議案 フレッシュアップセミナー開催について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

平成30年5月27日(日)9：00～16：00 獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱにて開催予定である。内容は以下のとおりである。

内容 エチケットマナー・医療安全・感染対策・
気管支解剖、入会案内

業務執行理事：金田幹雄 内容は自由である。開催要項はONE DRIVEに掲載されている。入会案内は必須。気管支解剖については教育委員による養成セミナー受講者でないと講師になれない。エチケットマナー、医療安全、感染対策についてはJARTにて規定されている項目なので、講義に入れば旅費、日当がJARTより支給される。

議長：小黑 清 担当理事の負担を減らすためにも役割の引き継ぎを行っていきたい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第10号議案 技師長サミット開催について

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。平成30年6月9日(土) (集合14:00、受付14:30、開催15:00)にて開催予定である。

ホテルニューイタヤ

1. 人材育成について

国際医療福祉大学病院 成田会員

栃木県立がんセンター 浅賀会員

とちぎメディカルセンターしもつが 松田会員

2. 医療被ばく低減施設取得セミナー 獨協医科大学病院 吉沢隆雄 (チーフサーベイヤー)

当日の役割分担については後日メールにて知らせる。

前回の反省点として参加頂いた方の氏名の把握に一部不備があった。今回はそのようなことが無いよう理事の方々にお願いしたい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第11号議案 第8回業務拡大に伴う統一講習会について

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。平成30年7月15日(日)、16日(月)獨協医科大学病院 教育医療棟 15日: 6階、16日: 7階にて開催予定である。

実習補助: 柳沢三二郎、金田幹雄、大橋俊之、
木村友昭。

二日目のみ: 三原健二、佐藤宏。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第12号議案 各部・各地区報告について

◎部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静: 退会者6名、転出者2名。

施設名称変更: 佐野市民病院が一般財団法人佐野メディカルセンター 佐野市民病院、とちぎりハビリテーションセンターが独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンターとなる。

総会員数平成30年4月9日現在485名(平成30年3月1日より8名減)。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 欠席により、報告なし。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入について 3月に日本診療放射線技師会より請求書送付済。

会費納入状況 平成29年度23名 機関紙等の配布の停止及び会員失格通知を送付済。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより、報告する。

新潟県診療放射線技師会から関東甲信越診療放射線技師学術大会MRI部門の座長依頼があり、4月26日栃木MRI技術研究会にて決定する予定である。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(広報部)

理事：樋口清孝 欠席により、報告なし。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 特になし。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 特になし。

(各地区理事活動報告)

第1地区 理事：樋口清孝 欠席により、報告なし。

第2地区 理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。第1回卒後教育講座を11月10日(土)獨協医科大学病院にて開催予定。

第3地区 理事：佐藤 宏 議長の求めにより、報告する。第1回卒後教育講座を計画中。

第4地区 理事：三原健二 議長の求めにより、報告する。第1回卒後教育講座を計画中。

第5地区 理事：木村和弘 議長の求めにより、報告する。第1回卒後教育講座を計画中、11月に開催予定。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第13号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 議長の求めにより、報告する。

現在栃木県診療放射線技師会ホームページにおいて記事の掲載が会誌発刊後半年後となっているが、会員、非会員の区別をする為、会員専用ページでは記事の掲載を発刊直後に行い非会員用ページでは従来通り半年後とする。今後は会誌の電子版それに伴い会費の減額を検討。

業務執行理事：福田敏幸 特になし。
業務執行理事：牧島正道 部会報告に同じ。
業務執行理事：須藤昌彦 欠席のため報告なし。

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、報告する。

卒後教育講座等における講師謝礼と交通費について講師への交通費は一律5,000円(税別)とする、また診療放射線技師が講師の場合の謝礼は5,000円/30分とする。

業務執行理事：吉成亀蔵 部会報告に同じ。

第14号議案 その他(報告事項と確認事項等)

●医療被ばく低減施設認定取得と診療報酬について
業務執行理事：柳沢三二郎 被ばく低減施設認定取得を数年かけて診療報酬改定に反映させていく構想があると記憶しているが、今後の動向を北関東会長会議での確認を会長にお願いしたい。

●平成29年度事業報告(案)について
理事：木村和弘 第5地区第1回卒後教育講座での講師が急遽石川啓介から大澤勇一に変更されたので、訂正をお願いする。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成30年度第1回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黒 清 閉会を宣し、20時10分散会した。



平成30年度 第2回 理 事 会 議 事 録 (抄)

日 時：平成30年7月26日(木) 午後6時30分 場 所：獨協医科大学病院 2階放射線部前 会議室
出席者：(理事) 小黒 清、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、樋口清孝、須藤昌彦
三原健二、佐藤 宏、木村友昭、高橋伸彰、木村和弘、加藤恵二
(監事) 茂木常男、萩原二三雄
欠席者：(理事) 柳沢三二郎、福田敏幸、大橋俊之、池田卓義

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事樋口清孝が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事萩原二三雄が選任された。

第1号議案 平成30年度第1回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成30年度第1回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成30年度第1回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 理事会資料に基づき会長報告する。

その他、7月17日(火)栃木県がん集検協議会総会で行われた役員改選において、平成30年度栃木県がん集検協議会理事に就任した。

第2号議案 第1回卒後教育講座開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。
参加者数は62名（会員53名、新卒者9名）であった。

今年度の卒後教育講座も引き続き「画像診断学の基礎」ということで、国際医療福祉大学 樋口清孝先生に依頼する。

理事：木村友昭 資料に基づき、第1回卒後教育講座の参加者から得たアンケート結果を報告する。「画像診断学の基礎（呼吸器）」、「医療被ばく低減施設認定取得へ向けて」の双方とも好評であった。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 フレッシューズセミナー開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。
参加者数は22名であった。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 技師長サミット開催報告

議長：小黒 清 理事会資料に基づき報告する。
参加者数は49名（24施設）であった。

今後も「人材育成」をテーマに開催する予定であるが、管理職のレベルアップのためにも「マネジメント」に関する内容も考えたい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 第8回および第9回業務拡大に伴う統一講習会について

議長：小黒 清 第8回業務拡大に伴う統一講習会について、理事会資料に基づき報告する。

受講者数は23名（会員19名、仮会員2名、非会員0名、他県会員2名）であった。なお、23名全員が合格した。

業務執行理事：金田幹雄 第9回業務拡大に伴う統一講習会の会場は獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰとする。募集人数は40名とし、開催スタッフ・実習指導補助者は副会長福田敏幸、業務執行理事金田幹雄、理事木村和弘の3名で開催する。なお、2日目の実習指導補助者として業務執行理事牧島正道、理事三原健二の2名が加わる。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 基礎技術講習（MRI検査）について

議長：小黒 清 基礎技術講習（MRI検査）については、理事会資料の通り開催する。

講師は栃木MRI技術研究会の協力により選出しているが、不足部分は国際医療福祉大学の丸山先生に協力を依頼している。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 第2回卒後教育講座について

議長：小黒 清 第2回卒後教育講座の会場は獨協医科大学病院3階大会議室とする。講座内容は「画像診断学の基礎（心疾患）」として、国際医療福祉大学の樋口先生に講義していただく。

業務執行理事：吉成亀蔵 その他、GEヘルスケア・ジャパン「マンモグラフィ装置」、バイエル「線量管理システム」の企業講演を考えている。

議長：小黒 清 統一講習会の講義内容に関連して、自動注入器の取扱いに関する基礎事項についても学ぶ機会が必要だと考える。第3回卒後教育講座も含め、開催時期を検討して欲しい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 各部・各地区報告

◎部会報告
（事務局）

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静については、入会希望者17名、転入者1名、退会者2名である。

議長は入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

（総務部）

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、第2回業務執行理事会議事録の確認を依頼する。なお、第3回業務執行理事会の開催を9月26日(水)に変更する。

（財務部）

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入状況は平成30年7月25日現在、正会員317名/501名（63.3%）である。また、平成29年度の会費未納者は10名である。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 特になし。

(広報部)

理事：樋口清孝 明日があすたーとVol.44の原稿締め切りであるが、予定された原稿はほぼ揃っている。会誌110号の発行は1月10日(木)、原稿締め切りは12月14日(金)とする。各地区卒後教育講座の内容など会誌に掲載できる学術記事があれば原稿執筆をお願いしたい。なお、第2地区からの原稿は届いている。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 今年度は血管造影・IVR領域における線量実態調査を実施する。それに先立ち、各施設に調査協力依頼アンケートを実施するが、倫理的に問題ないことを本理事会で確認いただきたい。

議長：小黑 清 この調査は人を対象とする医学研究に該当しないと判断する。また、アンケートの方法、取得データや個人情報の取扱いについても特に問題ない。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 特になし。

◎各地区理事活動報告

(第1地区)

理事：樋口清孝 第1地区卒後教育講座は第1回を10月19日(金)、第2回を2月15日(金)で予定している。詳細は、幹事会を開催して検討する。

(第2地区)

理事：木村友昭 第2地区卒後教育講座は第1回を11月10日(土)、第2回を2月23日(土)で予定している。

(第3地区)

理事：佐藤 宏 第3地区卒後教育講座は第1回を11月2日(金)、栃木県立がんセンターで開催する。内容は「読影の補助」として、放射線診断医に講演を依頼する。第2回は未定である。

(第4地区)

理事：三原健二 第4地区卒後教育講座は第1回を9月12日(木)、佐野市民病院で開催する。第2回は2月7日(木)、足利赤十字病院で開催する。

(第5地区)

理事：木村和弘 第5地区卒後教育講座は第1回を11月8日(木)、第2回を2月14日(木)で予定している。

議長：小黑 清 各地区卒後教育講座の1回分は「各施設における検査説明」として開催し、その内容をあすたーと等で広報していきたい。

第9号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 欠席により、報告なし。

業務執行理事：福田敏幸 欠席により、報告なし。

議長：小黑 清 9月5日(水)に開催される第58回栃木県公衆衛生大会において、知事表彰及び大会長表彰が行われる。なお、受賞者については後ほど理事メールでお知らせする。

業務執行理事：牧島正道 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：須藤昌彦 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：金田幹雄 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：吉成亀蔵 上記担当部署にて報告済み。

第10号議案 その他（報告事項と確認事項等）

●平成30年7月豪雨災害における義援金について

議長：小黑 清 本会より1万円の義援金を寄付したい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

●平成30年度診療報酬改定に対する検証調査について

議長：小黑 清 技師長サミットに参加した施設の技師長にはメールで協力依頼を行った。なお、アンケートの締め切りが8月3日(金)まで延長された。

●日本診療放射線技師会からの要望書提出について

議長：小黑 清 日本診療放射線技師会より厚生労働省医政局長および医政局医事課長へ「読影の補助業務における診療放射線技師活用に関する要望書」が提出された。また、厚生労働省労働基準局長へ「休日および夜間勤務労働適正化に関する要望書」が提出された。

●放射線関連機器故障・事故調査協力について

議長：小黑 清 日本診療放射線技師会で行っている本調査について、データ報告数が減少している。協力施設を増やすことも含め、データ提出に協力願いたい。

●第39回全国歯科保健大会の後援について

議長：小黑 清 厚生労働省医政局歯科保健課より後援依頼があった。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

●アンガーマネージメントについて

議長：小黒 清 怒りの感情をコントロールする方法であるアンガーマネージメントについて、ファシリテーターである山本果奈氏に第3回卒後教育講座の講演を依頼したい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

●第34回日本診療放射線技師学術大会について

議長：小黒 清 事前参加登録が少ない状況にあり、締め切りが8月9日(木)まで延長された。参加を呼びかけていただきたい。

●業務拡大に伴う統一講習会に関する意識調査アンケートについて

議長：小黒 清 日本診療放射線技師会のホームページ上でアンケート調査を行っている。協力を呼びかけていただきたい。

●医療被ばく低減施設認定取得に向けての説明会開催について

議長：小黒 清 地域サーベイヤーに協力していただき、医療被ばく低減施設認定取得を具体的に考えている施設を対象とした説明会を9月頃に開催したい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

●栃木県診療放射線技師会ホームページについて

理事：木村友昭 配付した資料に基づき、第1回卒後教育講座の参加者から得たアンケート結果を報告する。会員専用ページを新たに開設し、会員に有益な最新情報を提供していく。卒後教育講座アンケートや卒後教育講座資料なども新会員専用ページに掲載したい。

議長：小黒 清 会員へは「新会員専用ページ開設のお知らせ」をあすたーとに同封して発送する。

業務執行理事：金田幹雄 配付した資料に基づき、現会員専用ページにある9項目について新会員専用ページへの移行および削除を提案する。

議長：小黒 清 あすたーとは電子化してカラーで掲載する。しばらくは、電子版と冊子体を併用するが、将来的には電子版のみにしたい。

理事：木村友昭 各地区の様子や活動を会員や一般の方々にわかりやすく紹介するページを作成したい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

●平成31年度事業計画について

議長：小黒 清 日本診療放射線技師会から委託されている事業は11月末までに計画する必要がある。対象となる事業は「業務拡大に伴う統一講習会」、「基礎技術講習」、「フレッシュャーズセミナー」である。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成30年度第2回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黒 清 閉会を宣し、午後8時28分散会した。



平成30年度 第3回 理 事 会 議 事 録 (抄)

日 時：平成30年10月27日(土) 午後5時10分 場 所：獨協医科大学病院 3階大会議室
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦、
樋口清孝、須藤昌彦、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、木村和弘、加藤恵二、
大橋俊之、池田卓義
(監事) 茂木常男、萩原二三雄
欠席者：(理事) 高橋伸彰

開会の経過

定刻に至り、議長小黒 清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選

任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事木村友昭が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黑清、監事茂木常男、監事萩原二三雄が選任された。

第1号議案 平成30年度第2回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黑 清 平成30年度第2回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成30年度第2回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黑 清 資料に基づき会長報告する。

資料は事前にメールで配布してあるので、そちらを参照願いたい。

JARTからの「平成30年度診療放射線技師給与の動向に関する調査」の協力をお願いしたい。

全国会長会議議事録を配布したので確認をしてほしい。

茂木敏充衆議院議員の会合がグランドホテルで開催される。2万円だが副会長に参加してほしいので考えておいてほしい。

日放技第6回理事会資料はOne Driveにアップしてあるので、見ておいてほしい。

業務執行理事：柳沢三二郎 他団体の会費の一覧だが、全国の会費と県の会費の合わせたものが提示されていない。技師会の会費は高い。日放技は高すぎる。

議長：小黑 清 会員数の問題もあるが、本会も検討していく必要があると思う。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」開催報告

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

業務執行理事：金田幹雄 出席者数は80名であった。北は北海道から南は広島まで全国から参加していただいた。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 平成30年度第2回卒後教育講座開催報告

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

業務執行理事：金田幹雄 出席者数は53名であった。

議長：小黑 清 今後もテーマとして「読影の補

助」を続けていきたい。また各地区卒後教育講座では1回は検査説明をテーマにして、各施設でどのように行っているかを上げてほしい。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 第9回業務拡大に伴う統一講習会開催予定について

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

業務執行理事：金田幹雄 昨日までに20名が申し込んでいる。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 平成31年度事業スケジュールについて

議長：小黑 清 資料に基づき報告する。

JARTの総会開催日程によって技師長サミットの日程を決めたい。

基礎技術講習は10月6日に、内容は消化器および乳腺で考え、県内で講師を用意する方向で検討する。

平成31年5月25日に臨時で第2回と第3回理事会を、第4回理事会を平成31年7月24日(木)、第7回理事会を平成32年3月19日(木)に行い、全7回とする。

平成30、31年度の選挙管理委員に杉岡芳明、石川明敏、吉原勇人の3名を委嘱し、総会3カ月前の平成31年2月に選挙公示する。

業務執行理事：福田敏幸 2月、3月の行事は日放技の総会代議員を選出する為の選挙が行えるように開催日程を考慮する必要がある。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 各部・各地区報告

(1) 部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静、新入会希望者が8名、賛助会員1社。

議長は入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

業務執行理事：牧島正道 会員数が510名となった。

議長：小黑 清 会員数が500名を超えたので、日放技総会代議員が4名となる。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

第3回業務執行理事会議事録および平成30年度のスケジュールを確認していただきたい。第3地区第2回卒後教育講座の日程が決まったら報告するよう求める。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

業務執行理事：金田幹雄 10月26日現在の会費納入状況は、正会員428名/513名(83.4%)、賛助会員は16社(100%)、広告料11社/13社(84.6%)。広告掲載募集の返答無しは、GEヘルスケア・ジャパン(株)と栃木放射線(株)の2社である。

議長：小黒 清 賛助会員にはホームページにバナー広告を載せることをメールで知らせてある。広告料の徴収については今後考える。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 議長の求めにより、第14回学術研究発表会の演題募集状況を報告する。

業務執行理事：吉成亀蔵 昨日、足利赤十字病院の会員から1演題応募があった。

議長：小黒 清 関東地域と全国学術大会の演題発表報告は、時間的に難しい場合は発表を行わず演題名の報告だけにしても良い。

業務執行理事：金田幹雄 消化管撮影研究会を平成31年1月19日(土)に獨協医科大学病院で開催する。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより、会誌110号の発行は1月10日(木)、原稿締め切りは12月14日(金)とする。第14回学術研究発表会の抄録集の発行は2月18日(月)、原稿締め切りは1月31日(木)とする。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 議長の求めにより、「血管撮影・IVR領域における線量実態調査について」報告する。第3回業務執行理事会報告第5号議案の通り、22施設にアンケートを送付し8施設から回答が得られた。現地調査については本日終了した。成果は第14回学術研究発表会にて発表する。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

(2) 各地区理事活動報告

議長の求めにより、各地区活動について報告する。

第1地区

理事：樋口清孝 幹事会を9月6日に開催した。第1回卒後教育講座を10月19日(金)国際医療福祉大学にて開催した。内容は「AI(人工知能)技術の活用と展望」をメインテーマにキヤノンメディカルとフィリップスに講演していただいた。第2回卒後教育講座を2月15日(金)国際医療福祉大学にて開催予定。「患者に対する検査説明の現状」をシンポジウム形式で行う予定である。

第2地区

理事：木村友昭 幹事会を7月10日と9月8日に開催した。第1回卒後教育講座を11月10日(土)獨協医科大学病院にて開催予定。テーマは「患者が求める医療とは～診療放射線技師ができること、メーカーができること～」とし、検査説明と被ばく相談についての発表と討論会、メーカーから「わかりやすい危機管理～チームプレイとは～」と「AIを用いた医療情報ソリューション&機器管理」について講演していただく。第2回卒後教育講座を2月23日(土)獨協医科大学病院にて開催予定。CTやMRの大学病院での方法について知りたいと言う要望があるのでこれらをテーマに考えている。

第3地区

理事：佐藤 宏 第1回卒後教育講座を11月2日(金)に開催予定。テーマは読影の補助とし、がんセンター放射線科医による「急性腹症のCT-虫垂炎を中心に-」を行う予定である。第2回卒後教育講座を来年2月に開催予定。検査説明と接遇をテーマに国際医療福祉大学のキャリアコンサルタントに講師の内諾を得ている。

第4地区

理事：三原健二 第1回卒後教育講座を9月12日に開催した。出席者は25名。内容は『造影検査のリスクマネジメントについて～ヨード造影剤を中心に～』と題して、第一三共(株)に講演していただいた。

第5地区

理事：木村和弘 第1回卒後教育講座を11月8日(木)新小山市市民病院にて開催予定。CT・MRIの最新トピックスとして「キヤノンCT/MRI最新 Topics-超高精細・定量化から人工知能活用技術まで-」を講演していただき、その後に施設見学を予定している。第2回卒後教育講座を2月14日に開催予定。

議長：小黒 清 各地区第1回卒後教育講座の報告を広報樋口理事へ送って欲しい。開催案内はHPに載せるので、知らせてほしい。

第9号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 企画部で行った今回の「血管撮影領域における線量実態調査について」は他県にない珍しい調査である。測定に行っても測定機器が無くて出来ないとい

言う施設がほとんどで、日放技としても貸出用の線量計を用意できないものかと感じた。

議長：小黑 清 12月1日に開催する北関東地域会長会議で、日放技への質問を挙げてもらい提出することになっている。その際に提案したい。

業務執行理事：柳沢三二郎 女性診療放射線技師活躍推進班への参加をお願いしたい。

議長：小黑 清 宇都宮記念病院の会員に参加してもらえないか、柏崎理事をお願いした。12月1日に会議があり各県2名ずつ登録しているが本会だけ1名なのでなんとかしたい。

どんな活動をしてきたか理解してもらうため資料をメールで配布する。

業務執行理事：福田敏幸 9月5日の第58回栃木県公衆衛生大会にて、栃木県知事表彰を柳沢副会長が受賞したことを報告。日本診療放射線技師会の放射線管理士部会の栃木県委員の委嘱状が届いたことを報告。

医療被ばく相談に関し、先日、本会事務所に問い合わせがあったが上手く対応できなかった。

今後問合せが来た場合は、連絡先を聞いたうえで折り返し連絡して対応していきたい。

業務執行理事：牧島正道 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：須藤昌彦 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：金田幹雄 上記担当部署にて報告済み。

業務執行理事：吉成亀蔵 上記担当部署にて報告済み。

第10号議案 その他（報告事項と確認事項等）

●業務拡大に伴う統一講習会の参加促進について

議長：小黑 清 統一講習会を「受講しなければいけない理由」を柳沢副会長に作成していただいたのでHPに掲載したい。

日放技理事会時に確認したが、既に技師法24条2に掲載されているので要件を満たしていない技師に業務を行わせて何か医療事故が起こった場合には、職場の責任者は処罰されることになる。技師法違反になるので各施設の技師長はそのことを理解しておいてほしい。

業務執行理事：福田敏幸 次回の会誌発行時にこの文書を別刷りで同封してはどうか。

議長：小黑 清 この内容を各施設技師長宛てに送りたいので、発行文書作成を事務局にお願いする。

●役員一覧のHP掲載について

議長：小黑 清 役員一覧をHPに掲載したい。

●HPへのメカバナー掲載について

議長：小黑 清 メカバナーをHPに掲載したい。

●第1回卒後教育講座アンケート結果について

理事：木村友昭 議長の求めにより、第1回卒後教育講座アンケート結果を報告する。

この内容をHPに掲載したい。

●給与アンケートの協力について

議長：小黑 清 日本診療放射線技師会からの給与アンケートの協力について再度お願いしたい。

●栃木Ai研究会について

理事：樋口清孝 本年度は規定作成に注力したいと考えているので、意見をいただきたい。来年度学術集会を行いたい。

●卒後教育講座開催場所地図のHP掲載について

理事：大橋俊之 卒後教育講座の開催場所の地図をHPに掲載してほしい。

議長：小黑 清 PDFをもらえればHPに掲載する。

●会誌1-99号の電子化について

議長：小黑 清 会誌1-99号を電子化して残したいと考え、現在、矢野事務員に会誌90-99号をPDFファイルにしてもらっている。HPの容量を圧迫するようであれば掲載しなくて良いが、電子化して残しておいた方が今後のためではないかと考え作業を開始したので報告する。

業務執行理事：金田幹雄 会誌第1号は昭和33年発行であり、そんな昔の会誌はHPには掲載する必要はないのでは。

議長：小黑 清 紙ではいつか劣化してしまうので、電子化は必要ではないか。

業務執行理事：金田幹雄 全てを電子化するには手間と時間がかかるので、10年誌、30年誌、50年誌等を電子化して残しておけばよいのではないか。

議長：小黑 清 そのような意見を聞きながら今後の対応を考えていく。

●アンガーマネジメント講演依頼について

議長：小黑 清 アンガーマネジメント講演を依頼した山本果奈先生に1月から1月中旬に事務局より講師へ依頼状を出してほしい。

業務執行理事：吉成亀蔵 プログラムに載せたいので講師に関する資料をメールしてほしい。

●理事会の進行方法について

議長：小黑 清 今後、理事会はPCを使用してPDF化した資料をプロジェクターで投影しながら会議を行いたい。資料は今までどおり配布する。

議長はその他の議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長は、その他について諮ったところ特になく、以上本日の議案が満場一致にて承認されたことを確認した。

議長は本日の平成30年度第3回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

議長：小黑 清 閉会を宣し、午後7時15分散会した。



平成30年度 第4回 理事会議事録(抄)

日 時：平成31年 1 月19日(土) 午後 3 時00分 場 所：獨協医科大学病院 3 階放射線部前 会議室
出席者：(理事) 小黒 清、福田敏幸、牧島正道、須藤昌彦、柏崎克彦、樋口清孝、池田卓義、
高橋伸彰、木村友昭、大橋俊之、木村和弘、佐藤 宏
(監事) 茂木常男
欠席者：(理事) 柳沢三三郎、金田幹雄、吉成亀蔵、三原健二、加藤恵二
(監事) 荻原二三雄

開会の経過

定刻に至り、議長小黒 清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事佐藤宏が選任された。また、議事録署名人は、本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男が選任された。

第1号議案 平成30年度第3回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成30年度第3回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成30年度第3回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 会長報告する。

- 11月3日に茨城県診療放射線技師会創立70周年記念式典に参加した。記念式典、記念講演、祝賀会の構成等、来年度、本県の70周年記念式典に大変参考になった。
- 日本診療放射線技師会の代議員に、本県は会員512名のため3名選出することになるが、牧島正道業務執行理事、須藤昌彦業務執行理事、吉成亀蔵業務執行理事(補欠は金田幹雄業務執行理事)が立候補した。
- 日本診療放射線技師会は、チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用として、読影の補助カリキュラム等の改善を、また、診療放射線技師の働き方改革を、厚生労働省医政局長をはじめとした関係団体に要望書を提出した。
- 業務拡大に伴う統一講習会について、不足単位を補う及び法改正に伴う行為の教育という目的があるので、受講促進をお願いします。2020年の4月からは、新教育を受けた診療放射線技師が社会に出ることになる。
- ラジエーションハウスがテレビ放映されることになった。

- 規程の改正があり、2019年度から65歳以上の方の年会費が8,000円となる。
- 栃木県診療放射線技師会における各地区卒後教育講座のリーフレットを共通フォーマットとした。
- 2019年9月に埼玉県で開催される第35回日本診療放射線技師学術大会において、本県へ6名の実行委員の要請がきている。手当は学術大会から支給されるが、交通費は各県に負担してほしいとのことである。
- 栃木県診療放射線技師会のホームページ上に、業務拡大に伴う統一講習会の受講の必要性を掲示したので受講促進に尽力してほしい。
- 日本診療放射線技師連盟の会費を未納な方は納入してほしい。
- 日本診療放射線技師会加入に付随する保険の支払い状況は、任意保険で4件、全員加入で8件であった。
- フレッシューズセミナーの受講と入会の関係について提示。受講した方へは、より積極的な勧誘を進めていく。
- 倫理委員会のない病院に勤務する技師へ向け、研究における倫理審査窓口を日本診療放射線技師会で設置する方向性である。

樋口清孝理事より追加発言。業務拡大に伴う統一講習会について、2020年に卒業しても、留年経験者は新教育を履修していないので注意が必要である。入学年度で整理したほうが妥当である。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 第9回、第10回業務拡大に伴う統一講習会について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

第9回を平成30年11月17日、18日に獨協医科大学病院教育医療棟6階シミュレーション講義室Ⅰ他で開催した。受講者数は23名で全員合格した。

また、第10回を平成31年2月10日、11日に同会場で実施予定であり、開催スタッフ・実習補助とし

て、柏崎克彦理事、金田幹雄業務執行理事、加藤恵二理事、木村友昭理事が対応する。また、2日目のみ高橋伸彰理事も対応する。申し込み状況は現在19名である。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 第14回学術研究発表会・第3回卒後教育講座について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

- 平成31年3月3日(日)に済生会宇都宮病院みやのわホールで開催する。
- 演題は18題、特別講演は、ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社の山本果奈先生による「アンガーマネジメント講演」がある。
- その他、一般撮影、放治、MRI、RI (PET) セッションの座長が未選任のため、足利赤十字病院及び獨協医科大学病院に打診する。
- 関東甲信越及び全国学術大会で発表した会員の報告は、演題数が多いので、今回実施せず、紙上報告とする。
- ランチョンセミナーについて、キヤノンメディカルシステムズ株式会社に打診中である。
- ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社の山本果奈先生の講師依頼をこれから行う。
- 当日のスケジュール、会場設営、役割分担について確認した。
- 特別講演の座長は、小黒会長が担当することとした。
- メーカによるカタログの展示をこれから依頼する。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 創立70周年記念事業について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

- 50周年記念事業収支概要を踏まえて本事業を計画していく。
- 開催日は2019年11月23日を、会場はホテルニューイタヤを候補とする。
- 規模は100名程度を想定する。
- 正会員臨時会費、寄付金、正会員参加費、招待者ご祝儀等の収入は、50周年よりは縮小するだろう。
- 歴代の会長を招待する。

樋口清孝理事より追加発言。2020年1月号会誌を記念号としたとき、本事業の報告を兼ねることとする。

る。来賓祝辞、写真等をアップデートする予定である。

福田敏幸業務執行理事より追加発言。知事表彰等を実施するため、栃木県医療政策課に相談することとする。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 役員改選について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

- 選挙の公示を平成31年2月に行う。
- 選挙管理委員に杉岡芳明さん、石川明敏さん、吉原勇人さんが担当する。
- 届出の締め切りが平成31年4月25日である。
- 総会は5月25日である。
- 文書の和暦、西暦に注意し、牧島正道業務執行理事が発送する。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 各部・各地区報告

(1) 部会報告

(事務局)

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会員の動静について、新規入会希望者4名である。

会員数が平成31年1月7日現在で512名となった。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(総務部)

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

平成31年度のスケジュールを提示。第11回統一講習会を、日曜日、日曜日開催に変更した。理事会の第1回を4月17日(水)、第2回を7月10日(水)に変更した。

第4回業務執行理事会が平成30年12月8日に開催された。議事録の添付をもって報告にかえる。

議長小黒 清より追加発言。理事会、講習会の会場を獨協医科大学、獨協医科大学病院で予約を試みる。基礎講習会はテーマが乳房となる。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(財務部)

業務執行理事：金田幹雄 欠席により、議長小黒清が代わって報告する。

会費納入状況（平成31年1月7日現在）

正会員 477名／512名（93.2%）

賛助会員 16社／16社（100%）

広告料 14社／14社（100%）

平成29年度の正会員未納者が5名。

広告掲載について、GEヘルスケア・ジャパンが返答なしの状況である。

須藤昌彦業務執行理事より、金田幹雄業務執行理事の言付けとして、追加発言。本日の旅費の精算について、事前配布した旅費請求書をメール報告してほしいとのことである。今後、休日の旅費精算も同様としたい。現金手渡しにするか、振り込みにするかは、振込手数料がかさむので要検討とする。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(学術部)

業務執行理事：吉成亀蔵 欠席により報告なし。

(広報部)

理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

第14回学術研究発表会の抄録締め切りを1月31日とし、発行を2月18日に予定とする。

会場、駐車場の案内を抄録集に掲載するので、原稿を福田敏幸業務執行理事及び池田卓義理事にお願いする。

あすたーと第45号の発行が4月18日の予定。原稿締切を4月4日とする。各地区第2回卒後教育講座の報告が主となりそうである。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

(企画部)

理事：三原健二 欠席により報告なし。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 欠席により報告なし。

議長：小黒 清 追加発言。女性活躍推進委員として、自治医科大学附属病院の塚田文世さんに加え、獨協医科大学病院の栗山奈保さん、那須赤十字病院の加藤美和さんが選任され3名体制となった。妊娠中の働き方をはじめとしたアンケート調査を行い、関東甲信越学術大会で発表予定である。また、本県の来年度開催の基礎講習会は、テーマが乳房と

なるので、講師としての活躍を期待する。

(2) 各地区理事活動報告

(第1地区)

理事：樋口清孝 議長の求めにより報告する。

第2回卒後教育講座

開催日 2月15日

場所 国際医療福祉大学

内容（講師） 患者に対する検査説明の現状（4施設の会員）

(第2地区)

理事：木村友昭 議長の求めにより報告する。

第2回卒後教育講座

開催日 2月23日

場所 獨協医科大学病院

内容（講師） わかりやすいCT・MRの方法（放射線技師、医師）

RSNA報告（メーカ）

(第3地区)

理事：佐藤 宏 議長の求めにより報告する。

第2回卒後教育講座

開催日 2月6日

場所 栃木県立がんセンター

内容（講師） 医療接遇スキルアップ講座（国際医療福祉大学キャリア支援センター井出貴子先生）

(第4地区)

理事：三原健二 欠席により、須藤昌彦業務執行理事が代わって報告する。

第2回卒後教育講座

開催日 2月7日

場所 足利赤十字病院

内容（講師） 日本診療放射線技師会発刊の放射線検査説明ガイドラインと実情について（3施設の会員から）

(第5地区)

理事：木村和弘 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座

開催日 2月14日

場所 自治医科大学

内容（講師） 造影検査の留意点と患者説明のポイント（バイエル薬品株式会社）

アンケート集計結果の報告

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第7号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三三郎 欠席により報告なし。

業務執行理事：福田敏幸 公衆衛生大会の表彰者

一覧を本理事会に配布した。平成30年度日本公衆衛生協会会長表彰に福田敏幸業務執行理事が表彰される。

業務執行理事：牧島正道 部会報告に同じ。
業務執行理事：須藤昌彦 部会報告に同じ。
業務執行理事：金田幹雄 欠席により報告なし。
業務執行理事：吉成亀蔵 欠席により報告なし。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 その他

茂木常男監事より和暦、西暦の扱いについて問い合わせあり。

栃木県及び国の文書作成方法に準じて、2018、2019年度は和暦、西暦の併記で、2020年度は新元号の和暦のみ表記とする。

議長は、本日の平成30年度第4回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黒 清 閉会を宣し、16時45分散会した。



平成30年度 第5回 理 事 会 議 事 録 (抄)

日 時：平成31年3月3日(日) 午後4時30分 場 所：済生会宇都宮病院 みやのわホール3階研修室C
出席者：(理事) 小黒 清、柳沢三二郎、福田敏幸、牧島正道、金田幹雄、吉成亀蔵、柏崎克彦
樋口清孝、須藤昌彦、池田卓義、三原健二、佐藤 宏、木村友昭、大橋俊之
木村和弘、加藤恵二
(監事) 茂木常男、萩原二三雄
欠席者：(理事) 高橋伸彰

開会の経過

定刻に至り、議長小黒清 開会を宣する。

議長：小黒 清 本日の理事会は法定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議事録作成人の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって理事加藤恵二が選任された。また議事録署名人は本会定款第34条の規定により、会長小黒清、監事茂木常男、監事萩原二三雄が選任された。

第1号議案 平成30年度第4回理事会議事録の承認並びに会長報告

議長：小黒 清 平成30年度第4回理事会議事録の承認を求める。

議長は平成30年度第4回理事会議事録の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

議長：小黒 清 会長報告する。

- 2019年2月23日 日本診療放射線技師会第8回理事会資料はOneDriveを参照。
- 2020年度診療報酬改定に向けた調査のメ切は、3月31日。
- 3月11日に平成30年度がん対策推進協議会がん検診部会が県庁で開催。

- 3月13日に国際医療福祉大学放射線・情報科学科平成30年度学位記授与式に出席する。
- 統一講習会のお知らせを、あすたーと4月号とホームページに掲載。
- 群馬県診療放射線技師会より6月2日開催予定マンモグラフィポジショニング研修会の開催概要のホームページ掲載依頼があった。
- 栃木県臨床検査技師会より、平成31年10月または11月に道の駅どまんなかたぬまで開催予定の「検査と健康展」でのコラボ依頼があった。薬剤師会にもコラボ依頼をしているとのことで、前は、ろまんちっく村で開催、検査技師会としては、高校生向け臨床検査技師講座を開催した。日程及び内容によっては、当技師会としても参加したい。
- 第1、2回の各地区活動報告を会員専用ページに掲載したい。

議長は、本議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 第10回業務拡大に伴う統一講習会開催報告

業務執行理事：金田幹雄 理事会資料に基づき報告する。

議長：小黒 清 2月15日現在、受講率66.8%で未受講者は170名である。各理事には、施設に戻って非会員も含めて受講するよう啓蒙して頂きたい。

第3号議案 第14回学術研究発表会・第3回卒後教育講座開催報告

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより報告する。

会員94名、学生18名、非会員4名、合計116名の参加であった。

第4号議案 平成31年度事業計画書（案）と予算書（案）について

平成31年度事業計画書（案）について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

本会70周年記念式典は、11月23日（ホテルニューイタヤ）開催とする。

技師長サミットは、6月8日（ホテルニューイタヤ）開催とする。

医療被ばく実態調査は、CT検査について実施する。

医療被ばく低減施設認定の取得施設を増やしていきたい。

平成31年度予算書（案）について

業務執行理事：金田幹雄 資料に基づき報告する。

収入に関しては、会員数増加による会費収入増としてある。

支出に関しては、70周年記念関連に対して予算増としてある。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第5号議案 役員改選について

議長：小黒 清 資料に基づき報告する。

JARTの代議員は牧島理事、須藤理事、吉成理事（補欠は金田理事）以外の代議員立候補者がいないため、このまま3名選出とする。

平成31・32年度役員立候補届出〆切は4月25日であるが、各施設ルールで次の候補者が決まっているのであれば、4月17日開催予定の第1回理事会時に提出して頂きたい。新規、継続に関わらず届出及び履歴書の提出が必要である。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第6号議案 各部・各地区報告

◎部会報告

（事務局）

業務執行理事：牧島正道 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

福田敏幸理事が、平成30年度日本公衆衛生協会会長表彰を受賞した。

会員の動静、新規入会希望者が1名 退会の届出が6名。

会員総数は、2月25日現在512名で増減なし。

新規入会希望者1名について入会の承認を頂きたい。

入会希望者の入会許可について承認を諮ったところ、満場一致で承認された。

（総務部）

業務執行理事：須藤昌彦 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

2月21日に第5回業務執行理事会が開催された。

内容は添付した資料の通り。

（財務部）

業務執行理事：金田幹雄 議長の求めにより、資料に基づき報告する。

会費納入状況・第4回理事会旅費振込手数料・平成31年度会費合算請求・学術研究発表会副賞・謝礼については資料の通りである。正会員未納者3名については、4月1日付で除籍となる。旅費の支払いを振込にして頂けると、かなり負担が減るので考えて頂きたい。

再度調べて検討していきたい。

（学術部）

業務執行理事：吉成亀蔵 特になし。

理事：樋口清孝 発表スライドに利益相反事項の一文を入れたらどうか。

理事：木村友昭 学術発表で使用する古いPCが、会場によっては使用できないことがある。

金田理事の私物で対応したが、購入を考えて頂きたい。

業務執行理事：金田幹雄 レンタルPCも選択肢の一つである。

学術発表の責任者を決めたらどうか。

（広報部）

理事：樋口清孝 議長の求めにより、報告する。

4月18日第45号あすたーと発行予定。原稿締切は4月4日とする。各地区の第2回卒後教育講座の報告が主となる。

理事：木村友昭 あすたーとの会員専用パスワードを年1回更新していきたい。新パスワードは、あすたーとに別紙で同封する。

(組織部)

理事：柏崎克彦 特になし。

業務執行理事：柳沢三二郎 個人情報観点からもメーリングリストの管理を矢野さんに任せてはどうか。

議長：小黒 清 マニュアルを作成して、矢野さんに任せる方向で検討する。

(企画部)

理事：三原健二 特になし。

業務執行理事：柳沢三二郎 医療被ばく実態調査の結果は、ホームページに掲載予定。

(地域医療対策部)

理事：加藤恵二 特になし。

(各地区理事活動報告)

第1地区

理事：樋口清孝 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月15日、国際医療福祉大学で開催。

会員27名、非会員（学生）4名、計31名の参加。

第2地区

理事：木村友昭 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月23日、獨協医科大学病院で開催。

会員37名、非会員（医師）2名、計39名の参加。

第3地区

理事：佐藤 宏 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月6日、栃木県立がんセンターで開催。

会員27名、非会員（医師）1名、計28名の参加。

第4地区

理事：三原健二 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月7日、足利赤十字病院で開催。

会員32名、非会員0名、計32名の参加。

第5地区

理事：木村和弘 議長の求めにより、報告する。

第2回卒後教育講座を2月14日、自治医科大学で開催。

会員25名、非会員0名、計25名の参加。

第7号議案 業務執行理事報告

業務執行理事：柳沢三二郎 女性活躍推進班より非会員も含めアンケートURLを配布したいがどうか。

議長：小黒 清 技師長サミットの案内に同封する。

11月開催予定の基礎講座で、マンモA認定技師の協力をお願いしたい。

業務執行理事：福田敏幸 部会報告済み。

業務執行理事：牧島正道 部会報告済み。

業務執行理事：須藤昌彦 部会報告済み。

業務執行理事：金田幹雄 卒後教育講座における発表技師会員への謝礼について問い合わせがあった。

議長：小黒 清 来年度も、発表技師会員への謝礼等を含め、上限6万円をお願いしたい。

業務執行理事：吉成亀蔵 部会報告済み。

議長はこの議案の承認について諮ったところ、満場一致で承認された。

第8号議案 その他（報告事項と確認事項等）

●70周年記念式典について

議長：小黒 清 11月23日にホテルニューイタヤで開催する。

●和暦、西暦の表記形式について

議長：小黒 清 業務執行理事会報告書にある例1、例2のように表記。

監事：茂木常男 立候補届の生年月日欄が昭和のみであるが平成も必要である。

議長：小黒 清 文書管理規定より西暦表記に変更する。

議長は本日の平成30年度第5回理事会における議案がすべて議決完了したことを宣し、議長席を降壇した。

会長：小黒 清 閉会を宣し、18時05分散会した。

会の動静

- 8/26 あすたーとVol.46発行
- 8/29 第1回栃木県がん対策推進協議会がん検診部会(栃木県庁) 〈小黑会長〉
- 9/ 3 70周年記念式典打ち合わせ
(ホテルニューイタヤ)
〈小黑会長・吉成副会長・金田副会長・牧島常務理事〉
- 9/13 第2地区幹事会(獨協医科大学病院)
(木村・金田・飯島・江連・杉岡)
- 9/14-16 第35回日本診療放射線技師学術大会
(大宮ソニックシティ)
- 9/25 第1回第4地区卒後教育講座
(佐野厚生総合病院)
- 9/26 第3回業務執行理事会
創立70周年記念式典第2回実行委員責任者
会議 (獨協医科大学病院)
〈小黑会長・吉成副会長・金田副会長・牧島常務理事・
須藤理事・佐藤理事・大橋理事〉
- 9/30 会費納入締切
- 10/ 5 日本診療放射線技師会第3回理事会
(鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス)
〈小黑会長〉
- 10/ 6 診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」
(獨協医科大学)
- 10/10 第1回第1地区卒後教育講座
(国際医療福祉大学)
- 10/26 第2回卒後教育講座 (獨協医科大学病院)
第5回理事会 (獨協医科大学病院)
Ai研究会 (獨協医科大学病院)
〈小黑会長・金田・樋口・和田・園部・木村(友)・成田〉
- 11/3.4 第12回業務拡大に伴う統一講習会
(獨協医科大学病院)
- 11/ 7 創立70周年記念式典第2回実行委員会
(ホテルニューイタヤ)
- 11/ 8 第1回第3地区卒後教育講座
(芳賀赤十字病院)
- 11/ 9 第1回第2地区卒後教育講座
(獨協医科大学病院)
- 11/15 第1回第5地区卒後教育講座(自治医科大学)
- 11/21 第58回大田原地区・矢板地区・南那須地区公衆衛生大会
(那珂川町小川総合福祉センター)〈小森・田所〉
- 11/23 創立70周年記念式典・祝賀会
(ホテルニューイタヤ)

- 11/30 第2回日本診療放射線技師会北関東地域拡大
大会・教育委員合同会議
(大宮ソニックシティ)
〈小黑会長・吉成副会長(教育委員)・
金田副会長・佐藤理事〉
- 第2回日本診療放射線技師会人材育成委員会
女性活躍推進班北関東地域会議
(大宮ソニックシティ)〈塚田・加藤〉
- 12/ 7 第4回業務執行理事会(本会事務所)
〈小黑会長・吉成副会長・金田副会長・
牧島常務理事・須藤理事・佐藤理事・大橋理事〉
- 12/14 日本診療放射線技師会第4回理事会
(日本診療放射線技師会事務所)〈小黑会長〉

会員の動静 (敬称略)

会員総数 515名 (令和元年12月12日現在)

第1地区	90名	第2地区	111名
第3地区	159名	第4地区	61名
第5地区	94名		

入 会

山本 葵	新小山市民病院
秋葉 健吾	新小山市民病院
江連 有梨	恵生会 黒須病院
今泉 朱梨	上都賀総合病院
高木 千秋	済生会宇都宮病院
三浦 歩	栃木県立がんセンター
本田 幸希	済生会宇都宮病院
近藤 綾香	獨協医科大学病院
片岡 早姫	芳賀赤十字病院
金子 凌大	獨協医科大学病院
山崎 広貴	恵生会 黒須病院
伊藤 麗	佐野厚生総合病院
新井 聖良	佐野厚生総合病院
渡辺祐乃介	栃木県立がんセンター

転 入

岡部 将大	足利赤十字病院	埼玉県より
原 はるな	宇都宮記念病院	東京都より
黒崎 匡人	北斗会 宇都宮東病院	埼玉県より

退 会

武内 信也

転 出

新井 貴之 埼玉県へ
菊池 啓人 東京都へ
平塚 竜司 福島県へ

ご結婚おめでとうございます

令和元年 9月14日 本島 優太（足利赤十字病院）
令和元年11月23日 舘林 礼任（獨協医科大学病院）

お悔やみ申し上げます

令和元年 8月29日 ご母堂様 増渕 二郎
（自治医科大学附属病院）
令和元年 9月16日 ご母堂様 白坂 英郎
（獨協医科大学日光医療センター）

表 彰

●日本診療放射線技師会永年勤続表彰

・勤続30年功労表彰

後藤 和則 獨協医科大学病院
米田 純子 栃木県立リハビリテーションセ
ンター

●栃木県診療放射線技師会会長表彰

・勤続35年功労

蜂須賀 豊 獨協医科大学病院
飯島 渉 西方病院
簾谷 和男 足利赤十字病院
須田 富仁 亮仁会 那須中央病院
松本 清 獨協医科大学病院
小堀 一則 自治医科大学附属病院
黒川 元晴 芳賀赤十字病院
清水 孝明 北斗会 宇都宮東病院
清水由美子 獨協医科大学日光医療センター
金島 崇 恵生会 黒須病院
片岡 正英
藤田 邦臣 杏林堂 藤田医院

・勤続20年功労

山本 伸行 中津川循環器科内科クリニック
齋藤 隆司 日光市民病院
押久保光司 獨協医科大学病院
儘田 智仁 獨協医科大学病院
長島 雄二 国際医療福祉大学塩谷病院
木村 友昭 獨協医科大学病院
中野 等 徳仁会 中野病院

●公衆衛生大会表彰

①第59回栃木県公衆衛生大会

○知事表彰

黒川 元晴 芳賀赤十字病院
中里 明 足利赤十字病院

○大会長表彰

金田 幹雄 獨協医科大学病院
小堀 康子 芳賀赤十字病院
須藤 昌彦 足利赤十字病院

②各地区公衆衛生大会

○県北健康福祉センター所長・大田原地区公衆衛生協会会長表彰

室井 健三 国際医療福祉大学

○宇都宮市公衆衛生事業功労市長表彰

大築 慎一 済生会宇都宮病院

○小山地区公衆衛生協会会長・栃木県県南健康福祉センター所長表彰

大橋 俊之 自治医科大学附属病院

根本 幹央 自治医科大学附属病院

○栃木地区公衆衛生協会会長・栃木健康福祉センター所長表彰

福住 徹 獨協医科大学病院

高田 英明 とちぎメディカルセンターしもつが

令和元年度 活動予定表

令和2年

1/ 9(木) 会誌111号（創立70周年記念誌）発行
1/11(土) 第6回理事会
1/18(土)・19(日) 第13回業務拡大に伴う統一講習会
1/25(土) 第2回第2地区卒後教育講座
1/28(火) 第2回第4地区卒後教育講座
2/10(月) 第15回学術研究発表会抄録集発行
2/19(木) 第5回業務執行理事会
2/23(日) 第3回卒後教育講座・第15回学術研究発表会
3/ 6(金) 第2回第1地区卒後教育講座
3/19(木) 第7回理事会

賛助・広告会員一覧

- ・富士フイルムメディカル株式会社
- ・日本メジフィジックス株式会社
- ・キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- ・栃木放射線株式会社
- ・富士フイルム富山化学株式会社
- ・GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- ・エーザイ株式会社
- ・株式会社島津製作所
- ・株式会社フィリップス・ジャパン
- ・第一三共株式会社
- ・カイゲンファーマ株式会社
- ・株式会社邦潤
- ・株式会社日立製作所 ヘルスケア字都営営業所
- ・シーモンスヘルスケア株式会社
- ・バイエル薬品株式会社
- ・ユニカミノルタジャパン株式会社ヘルスケアカンパニー
- ・株式会社ドクターネット
- ・富士製薬工業株式会社
- ・伏見薬業株式会社
- ・キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
- ・株式会社ライズ
- ・ゲルベ・ジャパン株式会社

(順不同)

重宝発配

■新年、明けましておめでとうございます。令和の時代に入り、はじめて新年を迎えることになりました。今年は「子年」で、十二支のスタートでもあります。新たなことにチャレンジするには、最高の年かもしれません。

■本会が創立70周年を迎え、記念式典ならびに祝賀会が開催されました。そこで会誌を70周年記念号として、表紙のデザインも特別仕様でお届けしました。多くの方々から、お祝いのお言葉を頂き、誠にありがとうございました。

■いよいよ今年、東京オリンピックが7月24日(金)～8月9日(日)、パラリンピックが8月25日(木)～9月6日(日)に開催されます。そのため、国内での学会や研究会などのイベント開催日が例年とは異なる場合も多くあります。皆さん計画はお早めに！

■4月の「あすたーと」より電子配付となります。皆さまには有益な情報提供ができるよう努めてまいりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

一般社団法人 栃木県診療放射線技術師会 編集委員会
 委員長：堀口清孝、副委員長：高橋伸孝、編集長：藤田克彦

一般社団法人 栃木県診療放射線技術師会会誌 No.111

Journal of Tochigi Association of Radiologic Technologists

令和2年1月9日発行

編集 一般社団法人 栃木県診療放射線技術師会編集委員会

発行人 小島 清

発行 一般社団法人 栃木県診療放射線技術師会

〒320-0042 宇都宮市昭憲1-3-10

栃木県庁会館隣接404

TEL・FAX 028-626-7979

<http://www.tactnet.com/>

E-mail tactnet@tactnet.com

銀行振込：足利銀行本店(普通)175521

郵便振替：01340-3-35730

印刷所 藤崎印刷株式会社 TEL 028-683-4590

Excellent-m 2D

- ISC 線質補正技術
被写体コントラストを適切に調整
- FSC 微細構造鮮明化処理
信号成分とノイズを分離し、
信号強調とノイズ抑制を同時に実行

Excellent-m 3D

- ISR 逐次近似再構成処理
アーチファクトの低減、高解像度化、
粒状抑制を同時に実行



AMULET Innovality は新次元へ。

AMULET Innovality

FUJIFILM DIGITAL MAMMOGRAPHY SYSTEM



富士フイルムグループは
乳がん検診啓発活動を応援しています。

富士フイルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル TEL: 03-6419-8033(代) URL: <http://fms.fujifilm.co.jp>
AMULET Innovality 販売名: デジタル式乳房用X線診断装置 FDR MS-3500 認証番号: 224ABBZX00182000

X線CT装置

SOMATOM go.Top

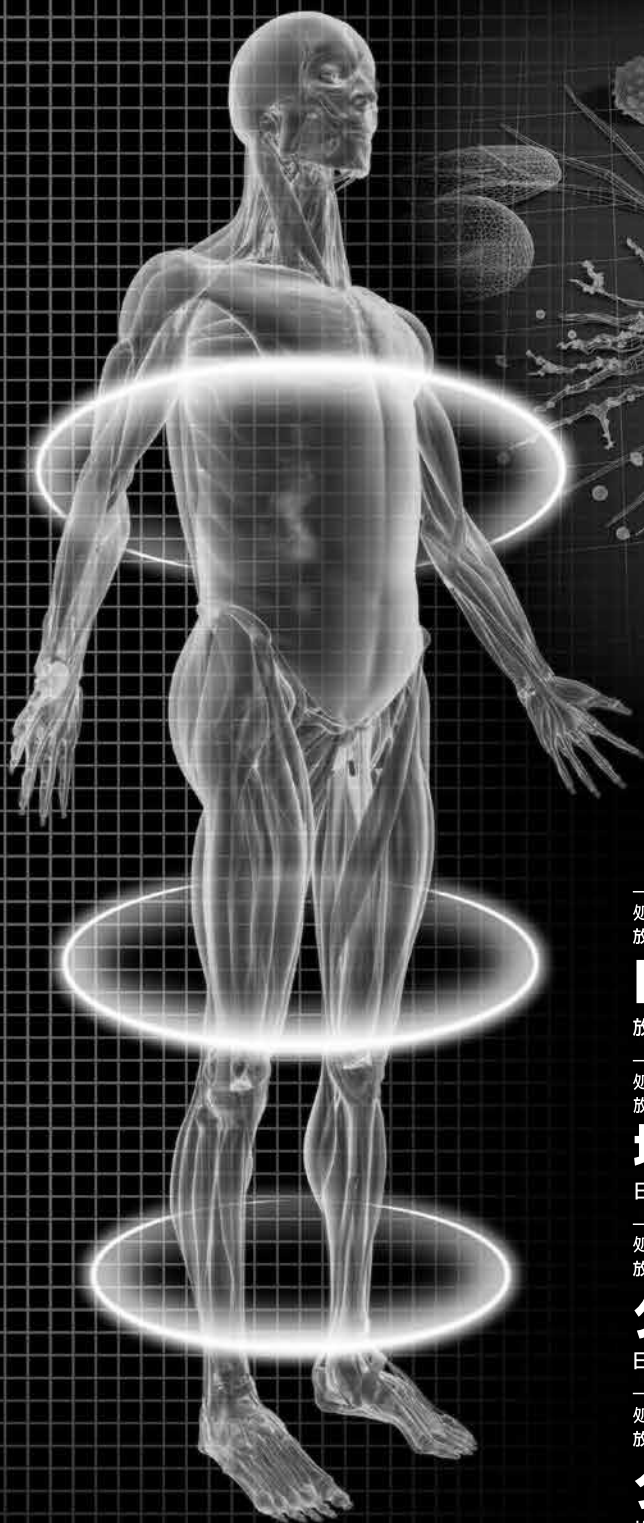
Lead to the top expanding clinical demand

www.siemens-healthineers.com/jp



モバイルワークフローという新しい検査環境を提案してきたSOMATOM goシリーズに、新しいValueを実現するCT装置“SOMATOM go.Top”が誕生しました。被検者の不安を解消し、オペレーターの負担を軽減する独自のワークフローに加え、高まる個別化医療のニーズに対して幅広いCT検査で応えます。

SIEMENS
Healthineers



処方箋医薬品^{注)}

放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

保険適用

FDGスキャン[®]注

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (^{18}F) 注射液

処方箋医薬品^{注)}

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、副甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)診断薬

薬価基準収載

塩化タリウム(^{201}Tl)注NMP

日本薬局方塩化タリウム (^{201}Tl) 注射液

処方箋医薬品^{注)}

放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性病変診断薬

薬価基準収載

クエン酸ガリウム(^{67}Ga)注NMP

日本薬局方クエン酸ガリウム (^{67}Ga) 注射液

処方箋医薬品^{注)}

放射性医薬品・骨疾患診断薬

薬価基準収載

クリアボーン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム ($^{99\text{m}}\text{Tc}$) 注射液

注) 注意・医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

®: 登録商標



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合いたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

消化管の診断に

処方箋医薬品
X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

パウダー製品

硫酸バリウム散 99.1%「共成」	バリトップP
ネオバルギンEHD	バリトップHD
ネオバルギンUHD	バリブライトP
ネオバルギンHD	バリブライトCL
	バリブライトLV
	バリコンクMX

ゾル製品

バムスターS200	バリトップゾル150
バリトップ120	バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

健
や
か
を
、
整
え
る
ち
か
ら
。

製造販売元

KAIGEN カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号〔資料請求先 商品企画部〕

<http://www.kaigen-pharma.co.jp>



資料請求先

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<http://byl.bayer.co.jp/>

環状型非イオン性MRI用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

ガドビスト[®] 静注1.0mol/L 2mL
シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

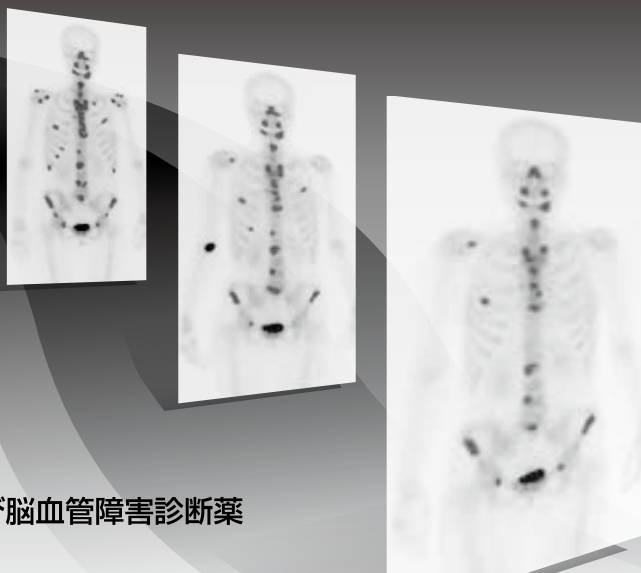
薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

L.JP.MKT.RL04.2018.1870

2018年8月作成

FUJIFILM
Value from Innovation



放射性医薬品／
骨疾患診断薬・脳腫瘍及び脳血管障害診断薬
処方箋医薬品^注

テクネ[®] MDP 注射液/キット

放射性医薬品基準メチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液／注射液 調製用 薬価基準収載

^注注意—医師等の処方箋により使用すること。

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」
等については添付文書をご参照ください。

2018年10月作成

製造販売元

富士フイルム 富山化学株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル
ホームページ：<http://ftc.fujifilm.co.jp>

TEL 03(5250)2620

がんや血栓の新しい治療薬を届けたい。
第一三共が積み重ねてきたサイエンスに
新しい切り口を加えて
生まれるイノベーション。
その先に、希望という名の
ゴールがあると信じて。



イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社



オイパロミン®

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液
処方せん医薬品^{※1} 薬価基準収載

150注 50mL / 200mL

300注 20mL / 50mL / 100mL

370注 20mL / 50mL / 100mL

300注 シリンジ 50mL / 80mL / 100mL / 150mL

370注 シリンジ 50mL / 65mL / 80mL / 100mL



IOPAQUE®

イオパーク®

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液
処方せん医薬品^{※1} 薬価基準収載

300注 10mL / 20mL / 50mL / 100mL

350注 20mL / 50mL / 100mL

240注 シリンジ 100mL

300注 シリンジ 50mL / 80mL / 100mL / 110mL / 125mL / 150mL

350注 シリンジ 70mL / 100mL

注): 注意—医師等の処方せんにより使用すること。 ■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

製造販売元
(資料請求先)



富士製薬工業株式会社

〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地

<http://www.fujipharma.jp/>

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

クロンフォート® 内用懸濁液25% **新発売** 2016年3月承認、5月薬価基準収載

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター®A240散 **バリトゲン®SHD** **エネマスター®注腸散**
硫酸バリウム散 99.5%「FSK」

■ 注腸用X線造影剤

■ 消化管X線造影剤

バリトゲン®HD **バリトゲン®デラックス** 【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】
バリトゲン® **ウムブラ®MD** ■ X線診断二重造影用発泡剤
バリエース®発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリトゲン®消泡内用液 2%
(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースルー®錠 2.5mg
(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

伏見製薬株式会社

● 資料請求先 営業企画部／香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所／TEL 022-295-5667

東京営業所／TEL 03-5328-7801

名古屋営業所／TEL 052-732-8555

大阪営業所／TEL 06-6160-2431

中四国営業所／TEL 082-509-2431

福岡営業所／TEL 092-413-4107

金沢オフィス／TEL 076-255-0282

http://www.fushimi.co.jp

取扱い商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two☆**

エスビー食品と共同開発。
味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

遠隔画像診断支援サービス

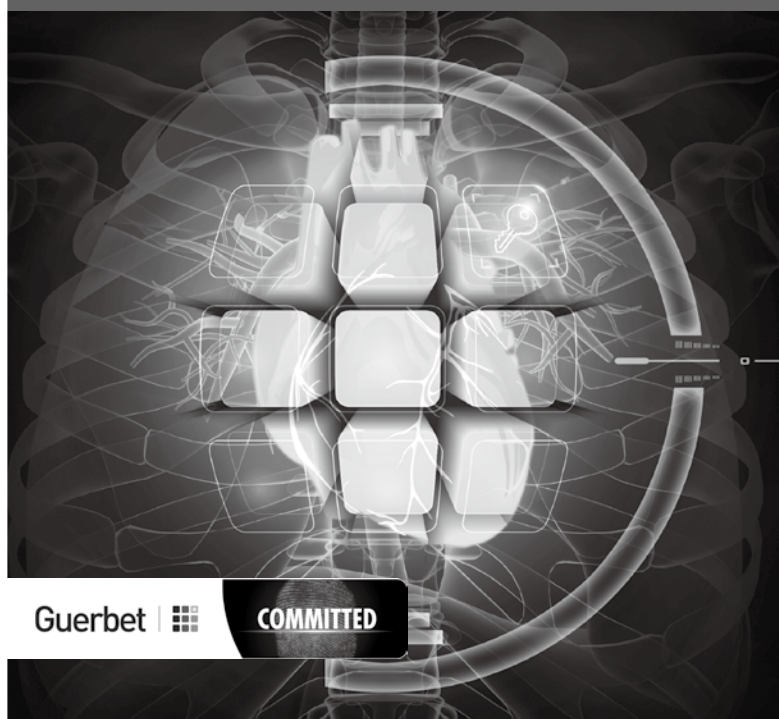
G.I.Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL: 03-5283-0981

検診に特化。
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

非イオン性造影剤

オプチレイ®



Guerbet |

COMMITTED

薬価基準収載

非イオン性造影剤

オプチレイ®

Optiray®

320注20mL/50mL/100mL

350注20mL/50mL/100mL

240注シリンジ100mL

320注シリンジ75mL/100mL

350注シリンジ100mL/135mL

イオベルソール注射液

処方箋医薬品^{注)}

注) 処方箋医薬品: 注意・医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌(原則禁忌を含む)および
使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元

ゲルベ・ジャパン株式会社

東京都千代田区麹町6丁目4番6号

http://www.guerbet.co.jp/

オプチレイ、Optirayは登録商標です。



すべては患者さんのために。

世界が直面する医療を取り巻く環境は日々変化し、多くの課題があります。私たちは、医療現場を総合的にサポートしながらともに成長していくことを目指します。

これからも医療のさらなる発展と
人々の健やかで安心できる暮らしに貢献します。

Made possible.

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

